

市勢要覽

昭和 25 年(1950 年)版

広島市

2/2

商工相談所相談種別件数

種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
法 規	7	4	15	2	4	3	4	5	9	5	2	2	62
資 金	2	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	5
金 融	15	10	19	18	16	19	35	30	16	36	12	80	303
税 務	—	—	7	1	—	1	—	3	2	5	1	—	20
細 則	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
考 査	9	8	12	5	5	9	5	2	2	2	5	1	61
考 査	—	1	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—	4
考 査	—	—	2	1	2	—	—	1	—	—	1	—	8
特 許	3	2	3	1	—	1	—	—	—	—	—	2	12
取 引	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
其 他	7	6	3	4	4	5	2	6	5	7	6	1	60
そ の	6	1	—	8	7	2	2	4	7	6	4	—	47
總 件 数	49	32	68	38	39	40	48	52	47	63	29	86	591

商工相談所業種別相談件数

業種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
金 融	3	—	1	3	2	2	3	2	4	5	—	6	31
機械器具工業	7	1	6	3	—	5	4	2	4	3	2	12	52
化学工業	1	1	1	—	4	1	2	7	3	4	1	3	28
皮革及び 土石工業	—	—	1	—	—	3	2	1	3	3	1	4	18
特 殊 工 業	—	—	—	1	—	—	1	—	—	—	—	—	2
包装材料工業	4	—	3	2	6	3	—	4	4	5	2	10	43
食品工業	4	1	11	4	5	2	2	5	5	5	3	6	53
印刷及び 製本業	2	3	1	1	2	2	3	2	3	1	1	4	25
その他の工業	11	6	7	1	—	4	2	2	1	7	2	8	51
農林品商業	—	—	3	4	3	2	2	1	3	6	—	1	31
食料品商業	4	5	10	4	5	6	9	13	8	13	5	11	96
住居品商業	—	—	2	1	4	2	2	—	—	1	—	3	16
その他の商業	15	14	22	14	8	5	10	10	9	10	12	18	145
總 件 数	49	32	68	38	39	40	48	52	47	63	29	86	591

広島中小工業協同組合の事業状況について

8月広島中小企業特許振興制度の融資基金 500万円の支出を得て9月より毎月相談を行い当選者の信用調査に依り、信用あるものみに平均10名程度の融資を行っている。大体当選者の80%は融資を受けている現況である。

組合員数……………167人

借入最高限度……………20万円

借入期間……………2ヶ月

融資状況

区分	融資申込		融資額		融資成立		備考
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	
連轉資金	77 40 36	万円 1,360 735 623	30 15 15	万円 940 280 270	11 9 —	万円 103 90 —	第1回 11月貸付 第2回 12月貸付 第3回 1月貸付
計	153	2,718	60	1,070	20	190	—

業種別融資状況

業種別	融資申込		融資額		融資成立	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
機械器具工業	42	万円 380	18	万円 320	6	万円 60
金属工業	21	330	8	140	4	30
化学工業	22	420	6	115	2	25
繊維工業	17	315	6	120	3	30
織物工業	23	365	13	235	4	40
木製品工業	15	290	4	70	1	5
印刷工業	13	215	5	70	—	—
計	153	2,718	60	1,070	20	190

工場診断について

中小企業の振興並びに危機打開の一策として工場の経営診断を試み第1次、第2次と、5、6月の2ヶ月間に亘り7工場の診断を実施し多大の好評を得ているのであつて、これは産業構造再編成のための基盤となり今後も継続して実施する予定である。

診断要領 金属工業、機械器具工業、化学工業、繊維工業、木工工業、食品工業、印刷工業の7業種、

診断項目 経営管理、企業組織及び労務管理、生産技術

診断回数 1工場2日間

診断員 広島大学各専門教授

診断実施工場

区分	実施数	実施工場の生産品目
金属工業	1	鋸 机
機械器具工業	5	機械、農機具部品、電氣部品
化学工業	1	—
計	7	—

度量衡器営業者概況 (昭和25.12.31現在)

区分	製作者		修置者		販賣者		計
	計量器	衡器	度量衡器	計量器	度量衡器	計量器	
申請数	—	2	—	13	15	7	46
免許数	—	1	2	5	6	6	26

乙種取締成績 (昭和25年中)

取締成績	検査總器数	不正器数	不正歩合
76戸	240件	8件	3.3%

註 事業所で使用する度量衡器と臨時検査するもの

旅客自動車乗許可及び検査件数 (昭和25年中)

営業所	概況		車体検査有効期間	
	内 厚生車	内 人力車	1ヶ月	10ヶ月
許可件数	5件	5件	1件	3台
			32台	12台

産業分類別工場数、従業員数及び生産(加工)額 (昭和24年12月末日現在)

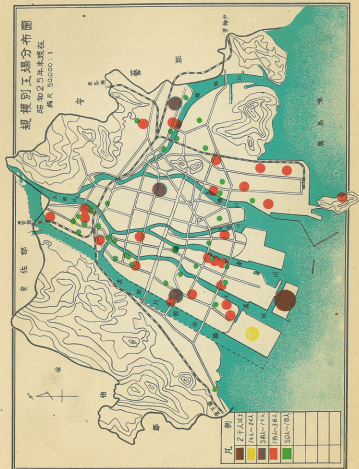
産業分類	工場数	従業員数				生産額	
		個人業主及び家族従業員	男	女	男	女	製造品価格(千円)
食料品製造業	237	2,827	483	349	83	1,172	129,737
飲料製造業	33	221	29	26	6	89	243,339
衣服及び身の回り品製造業	21	767	4	119	35	145	125,399
木材及び木製品製造業(家具を除く)	224	1,128	215	277	55	1,021	563,545
家具及び建築用材料製造業	237	1,110	242	119	2	703	157,744
紙及び紙製品製造業	9	94	3	21	3	46	23,736
印刷出版及び印刷業	51	2,108	31	672	156	990	792,074
化学工業	30	644	18	153	33	315	352,306
石油及び石炭製品製造業	12	105	8	25	5	48	32,177
ゴム製品製造業	13	851	10	103	28	360	249,548
皮革及び皮革製品製造業	12	245	7	37	6	90	83,938
ガラス及び土石製品製造業	53	634	31	99	20	404	207,694
非金属製品製造業	19	594	17	31	7	200	110,956
金属製品製造業(機械及び金属を除く)	100	1,382	83	296	35	840	290,602
機械器具製造業	120	3,115	99	478	61	2,336	632,091
電気機械器具製造業(電気機械器具を除く)	15	684	11	16	23	308	118,973
輸送用設備製造業	40	3,424	29	584	68	2,999	761,808
専門機械、治具、金型、材料	12	326	10	50	14	94	118,451
機械器具及び時計製造業	77	1,371	67	142	30	607	302,872
その他の製造業							4,507
合 計		1,371,21,865	1,411	3,654	691	12,405	3,693,361,045

主要生産工業事業所一覽表

(従業員数100人以上)

(昭和25年12月末現在)

事業所名	所在地	従業員数	製造(加工)品名	事業所名	所在地	従業員数	製造(加工)品名
住野工業株式会社	打越町 933	103	巾 襪	株式会社新興織機工業所	舟入川口町 571-1	241	縫ゴム靴
大橋工業株式会社	三條本町 丁目1957	122	革 靴	熊野堂織機株式会社	〃 1093	183	ドラム縫製靴
三次製紙有限会社	楠本町 丁目51	111	和紙、包装紙	株式会社桐原容器工業所	〃 官有 4-3	103	洋靴、縫靴
萬國製針株式会社	楠本町 丁目440	149	縫 針	西日本工業株式会社楠島造針所	江渡町池先	2,275	船 針
藤野棉業株式会社	東蟹屋町 130	151	駄箱綿、ガーゼ、中人綿	中國除料株式会社	吉島本町 738-1	101	襪 料
株式会社中國新聞社	上流川町 2	414	中國新聞、夕刊新聞	廣島硝子工業株式会社	大開町 164	265	硝子 罐
日本通商株式会社	宮匠町 59	180	産産綿、青産綿	中本印刷株式会社	〃 丁目 127	109	印 刷
三宅製針株式会社	上天満町 405-1	254	縫 針	中國電機株式会社大瀬製作所	〃 5丁目 328	322	縫縫器、電力及び電機用電機
廣島図書株式会社	南観音町 615	403	檢定教科書	中國電機株式会社出汐製作所	出汐町 721-11	238	電線 (一般用)
佐伯糖化工業株式会社	〃 634	178	菓 子	鈴木化学工業株式会社	樽見町 丁目 1960	121	アミノ酸、酸粉
昭和会工業株式会社	〃 1051	125	紙巻煙草	共同印刷製本株式会社	翠町 1572	141	印 刷
西日本工業株式会社廣島造船所	〃	1,656	船舶市舶機、船舶汽機	松尾製食工業株式会社	宇品町 4丁目 122	128	キャタール飲料水
大森産業株式会社社設工場	〃	241	135 再生鉄線	株式会社熊手製作所	宇品町 1146	102	金 原酒民導筒
株式会社津田式ポンプ製作所	〃 2658	103	津田式ポンプ	日本純正食品工業株式会社廣島工場	〃 1100	226	魚類、果物罐 頭
長谷川農機工業合名会社	舟入川口町 677	114	ゴム製品	株式会社元宇品造船所	元宇品町 300	152	船舶及び船舶用内燃機



主要生産工業事業所一覽表

(従業員数50人以上)

(昭和25年12月末現在)

事業所名	所在地	従業員数	製造(加工)品名	事業所名	所在地	従業員数	製造(加工)品名
廣島製針 株式会社	横川町 1丁目1079	52	縫 針	瀬川工業 株式会社	市観音町 374	63	セメント紙器
東亜建設工業 株式会社	橋本町 1丁目702	53	縫ゴム草履	株式会社 市場製作所	〃	2	64 鋳造製品
日産製菓 株式会社	三篠本町 2丁目1433	69	餅 菓子	佐伯製菓 株式会社	舟入堂町 390-1	59	湯水手押ポン プ
高野製菓 株式会社	〃 3丁目 249-2	54	駄馬模、建具	關西工業 株式会社	舟入川口町 671	83	自轉車用バン ドブレーキ
明星ゴム工業 株式会社	橋本町 2丁目 53	74	ゴム草履、 パツカシ	熊野製織 株式会社	江波町1233	55	五環連並線織
株式会社田村 磨七製針所	〃 〃 389	94	縫 針	日本理化学工業 株式会社廣島工場	舟入川口町 725	61	船舶酸素瓦斯
日本ミシン針 製作所	〃 〃 380	57	ミシン針	丸新醤油 株式会社	吉島町 31	51	醬 油
興亜ゴム工業 株式会社	〃 2丁目 445-1	97	水産用ゴム引 布製品 縫ゴム靴	廣田自動車工 業株式会社	千田町3丁 目 743-8	51	自動車車体製 造修理
山陽綿業 株式会社	尾長町 384	59	中人綿、脱脂 綿	三星製革 株式会社	西置屋町 475	77	靴パン、ビス ケット、キヤ ラメル
株式会社 中本幸吉	西白鳥町17	59	鍍金及び定額 押行物一般商 業印刷物	大東通商工業 株式会社	大洲町 137-2	98	縫ゴム靴、地 下足袋
合資会社 村田製針所	黄瀬北町 4	56	縫針、著書機 針	株式会社新興 金屬工製作所	〃 4丁目 301	71	汽動式直巻ボ イラポン
文化印刷 株式会社	舟入仲町 112	54	印刷製本	野口製靴 工業所	段原目出町 223-2	79	縫ゴム靴、ゴ ム底布靴
財團法人 廣島民生會 中廣授産場	中廣町 833-2	53	花 繻	井畑ゴム工業 株式会社	東雲町 767	64	縫ゴム靴、布 靴
合名会社楠原 成之助商店	上天満町 564	55	味噌、佃煮	廣島印刷製 版所	霞町 (縣廳)	59	事務様式及び 帳簿
植田造機 株式会社	〃 〃	52	鋸 鋸	富士硝子工業 株式会社	植草町2丁 目 279	54	投薬器、飲料 水壺
明光光工所	〃 479	60	フラスコピン	中野工業株式 会社廣島工場	〃 463-1	77	精米機(金機 加工機械)
草津水産物製 品製造所	草津南町 991	61	番 針	廣島精工 株式会社	宇品町 135	84	パン、ビスケ ット、製粉、 製氷
田取製針 株式会社	市観音町 2丁目 342	75	縫 針				

競馬、競輪

岐阜市復興事業の財源に充てるため競馬、競輪事業の経営を地方公共団体に認められたので本市はこれにより昭和25年1月21日自轉車競技法に基づく指定市の指定を受け、同年3月29日地方競馬法に基づく指定市の認可を得たので、斯業の推進を図るため同年6月17日附規則第14号をもつて競馬、競輪係を設置した。

競輪事業については日下市内に競輪場の建設を企劃準備中である。

競馬事業については、市長の臨時顧問として7月18日岐阜市競馬運営委員会を設置した。委員会の構成は8名（市会議員4名、市関係吏員3名、馬事有識者1名）である。

岐阜市笠原山競馬施設概況

區 分	第 1 回	第 2 回	備 考
開 催 日	8月26, 27, 29, 30 9月2, 4(6日間)	12月17, 18, 19, 22 23, 24(6日間)	
出 走 馬 数	185頭	148頭	
入 場 者 總 数	12,070人	6,527人	無料入場者を含む
入場券發賣金額	284,140圓	94,540圓	入場税を含む
賞金支給 總 額	1,724,800圓	1,697,000圓	
従 事 員	延 1,860人	延 1,872人	

成 績

區 分	入場人員	車 勝 式	複 勝 式	連 勝 式	合 計	1人當り 所収輸入額
第 1 回	12,070	693,490圓	933,870圓	10,328,150圓	11,955,510圓	990
第 2 回	6,527	294,280	447,640	7,424,770	8,166,690	1,251

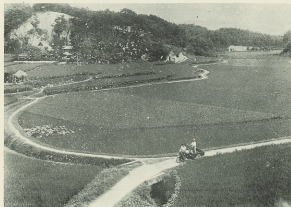
農 林 水 産 業

農 業

昭和25年2月1日現在を以て1950年農家農業センサスが実施せられ、岐阜市内の農家についての現況が次表の通り明らかとなつた。これによると農家總数 3,658戸、農家世帯總人員19,385人であつて、市内総世帯数の5%、総人口の7%に當る。そしてその經營耕地總面積は 651町5反3畝19歩で、自己所有地67%借入地33%の割合であり、1反未満の小面積耕作農家が全農家の半に近くを占めている。



星 屋 ビ ル
(昭和25年9月落成)



市内周辺部の水田

専業、兼業別農家数及び農家人口 (昭25.2.1現在)

區 分	總 数		専 業 兼 業 の 別							
	農家数	世帯員数	専業農家		兼業農家		農家の主とする農家		兼業の主とする農家	
			農家数	世帯員数	農家数	世帯員数	農家数	世帯員数	農家数	世帯員数
5 畝 未 滿	875	4,189	42	102	833	4,087	12	51	821	4,036
5 畝以上 1 反未満	834	3,825	173	534	661	3,290	130	553	551	2,837
1 反以上 2 反未満	919	4,517	215	1,008	624	3,419	242	1,232	382	548
2 反以上 3 反未満	467	2,419	223	978	244	1,441	159	893	85	176
3 反以上 5 反未満	482	2,542	277	1,403	185	1,139	126	803	29	50
5 反以上 1 町未満	168	1,022	124	723	44	299	40	269	4	—
1 町以上 1 町 5 反未満	50	321	42	258	8	63	8	63	—	—
1 町 5 反以上 2 町未満	10	73	9	64	1	9	1	9	—	—
2 町以上 2 町 5 反以上	1	7	1	14	1	7	1	7	—	—
土地を耕作しないで例外規定の適用を受ける者	71	357	2	11	68	346	2	13	69	333
合 計	3,858	19,325	1,183	5,185	2,683	14,200	751	4,053	1,918	10,147

自小作別農家数及びその經營耕地面積 (昭25.2.1現在)

區 分	總 数		自 作		自 作 兼 小 作	
	農家数	面 積	農家数	面 積	農家数	面 積
5 畝 未 滿	875	町反畝歩	520	町反畝歩	18	町反畝歩
5 畝以上 1 反未満	834	26.2.2.03	530	15.5.0.27	30	6.5.04
1 反以上 2 反未満	919	59.1.3.24	529	37.3.8.18	88	2.7.1.20
2 反以上 3 反未満	467	127.1.5.10	245	72.6.2.27	62	12.7.3.17
3 反以上 5 反未満	482	112.7.4.29	207	59.1.6.07	79	15.5.0.01
5 反以上 1 町未満	168	172.9.6.05	47	77.4.9.10	45	24.5.4.16
1 町以上 1 町 5 反未満	50	39.2.5.23	38	47.3.6.07	8	28.4.7.20
1 町 5 反以上 2 町未満	10	58.1.0.15	8	30.0.4.27	1	6.1.5.22
2 町以上 2 町 5 反以上	1	33.2.5.25	—	8.9.5.25	1	10.5.0.00
土地を耕作しないで例外規定の適用を受ける者	71	1.6.5.00	—	—	—	1.6.5.00
合 計	3,787	2.3.4.03	2,158	349.1.8.28	336	95.4.8.10
區 分	小 作 兼 自 作		小 作		そ の 他	
	農家数	面 積	農家数	面 積	農家数	面 積
5 畝 未 滿	18	町反畝歩	307	町反畝歩	12	町反畝歩
5 畝以上 1 反未満	40	7.2.03	210	9.0.0.01	12	3.4.00
1 反以上 2 反未満	99	3.3.6.23	232	14.8.7.13	11	7.9.10
2 反以上 3 反未満	49	8.5.2.13	97	31.5.6.03	11	1.7.0.10
3 反以上 5 反未満	60	12.0.8.21	108	22.6.7.09	44	3.3.2.21
5 反以上 1 町未満	15	22.7.3.00	26	40.1.3.18	8	3.0.5.21
1 町以上 1 町 5 反未満	2	8.6.6.06	2	14.9.5.17	3	1.6.4.25
1 町 5 反以上 2 町未満	1	1.5.5.29	—	—	—	—
2 町以上 2 町 5 反以上	1	1.5.1.00	—	—	—	—
土地を耕作しないで例外規定の適用を受ける者	—	—	1	2.3.4.00	—	—
合 計	250	58.9.6.08	983	137.0.3.06	60	10.8.6.27

農家の利用種別経営土地面積 (昭和25.1現在)

利用種別 経営土地 面積別	経営土地 総面積	耕		畑		その他の 土地面積		山 林
		総面積	田	畑	樹園地	田	畑	
		町反歩	町反歩	町反歩	町反歩	町反歩	町反歩	
5 畝 未 満	47,688.03	25,220.08	2,400.05	23,500.18	3,115	15,260.09	6,199.16	
5 畝以上 1 反未満	100,990.00	59,133.24	12,666.13	45,000.12	1,450.20	15,918.14	23,866.22	
1 反以上 2 反未満	195,900.15	127,155.10	42,988.28	80,777.04	3,390.08	23,655.21	44,699.14	
2 反以上 3 反未満	156,142.22	112,742.29	42,455.02	68,879.19	3,420.08	13,555.15	29,840.10	
3 反以上 4 反未満	236,040.07	172,960.00	73,440.09	84,920.00	8,590.20	15,600.22	47,470.10	
4 反以上 5 反未満	146,382.24	98,100.15	54,340.04	59,500.09	4,260.02	7,340.00	40,940.00	
5 反以上 7 反未満	68,382.23	39,255.23	21,150.04	15,240.28	2,850.21	3,310.23	23,810.07	
7 反以上 1 町反未満	17,060.19	11,950.25	4,510.19	4,680.11	2,750.25	8,820.24	4,220.00	
1 町反以上 2 町反未満	1,750.00	1,650.00	1,500.00	1,500.00	—	1,000.00	—	
2 町以上 土地を耕作し ないで飼育 用にするもの	2,390.00	2,340.00	1,500.00	2,190.00	—	500.00	—	
計	971,800.16	655,530.19	251,600.24	362,860.26	27,050.29	97,220.28	225,040.19	

所有地、借入地其他別経営耕地面積 (昭和25.1現在)

区 分	総 面 積	所 有 地	借 入 地	そ の 他
		町反歩	町反歩	町反歩
5 畝 未 満	47,688.03	25,220.08	2,400.05	23,500.18
5 畝以上 1 反未満	100,990.00	59,133.24	12,666.13	45,000.12
1 反以上 2 反未満	195,900.15	127,155.10	42,988.28	80,777.04
2 反以上 3 反未満	156,142.22	112,742.29	42,455.02	68,879.19
3 反以上 4 反未満	236,040.07	172,960.00	73,440.09	84,920.00
4 反以上 5 反未満	146,382.24	98,100.15	54,340.04	59,500.09
5 反以上 7 反未満	68,382.23	39,255.23	21,150.04	15,240.28
7 反以上 1 町反未満	17,060.19	11,950.25	4,510.19	4,680.11
1 町反以上 2 町反未満	1,750.00	1,650.00	1,500.00	1,500.00
2 町以上	2,390.00	2,340.00	1,500.00	2,190.00
計	651,530.19	435,130.03	205,320.04	10,080.12

農業経営は一般経済界の影響と供出削減、農業課税に促されて困難を呈して来て居り、経営方針の調整が必要となつて来た。本市の農業指導方針もこの点を考慮して都市としての農業経営の向上を計り、一方本年の1期指導要綱に即座すべく病害虫の防除、合理的施肥等の科学的指導と、開墾及び増収による土地改良指導に主眼を置いて積極的にこれを進めている。

主要農作物の作付面積及び収穫高 (最近5ヶ年間)

区 分	米		麦		甘 藷		馬 鈴 薯	
	作付面積		作付面積		作付面積		作付面積	
	反	石	反	石	反	石	反	石
昭和20年度	1,915	3,820	2,166	2,556	803	228,855	554	137,016
21 年	2,135	4,272	1,901	2,262	1,204	530,994	684	179,944
22 年	2,160	4,354	2,235	2,838	1,209	368,745	653	179,575
23 年	2,299	5,056	3,039	3,451	1,403	525,876	545	149,191
24 年	2,299	5,080	2,607	3,569	1,381	527,000	552	153,817
25 年	2,299	4,614	2,620	4,340	829	207,250	248	99,200

主要食糧の供出成績 (最近5ヶ年間)

区 分	米		麦		甘 藷		馬 鈴 薯	
	供出割合		供出割合		供出割合		供出割合	
	反	石	反	石	反	石	反	石
昭和20年度	280	332,118	1,500	1,693,112	87,000	44,301	50	96,000
21 年	2,200	2,210,100	1,600	1,730,108	402,200	221,913	55	72,500
22 年	360	364,101	671	741,110	110,800	123,763	116	118,200
23 年	408	414,101	624	721,115	73,200	347,241	474	98,800
24 年	473	473,100	488	552,113	98,800	117,697	119	91,690
25 年	426	426,100	856	856,100	—	—	—	—

農業共済組合、共済事業引受状況 (唐島市産業共済組合)

自昭和24年4月1日 昭和25年3月31日	第1回事業成績	自昭和25年4月1日 昭和26年2月28日	第2回事業成績
區 分	初 年 度	區 分	第 2 年 度
組 合 員 數	1,918人	組 合 員 數	1,648人
	共 濟 引 受		共 濟 引 受
農 作 物	5,729反	農 作 物	5,509反4畝
(イ) 水 稻	2,299 〃	(イ) 水 稻	2,010 〃 9 〃
(ロ) 24年度產麥	2,607 〃	(ロ) 25年度產麥	1,823 〃 0 〃
25年度產麥	1,823 〃	24年度產麥	1,675 〃 5 〃
家 畜	17頭	家 畜	60頭
建 物	一戸	建 物	三戸

花卉園藝市場月別取扱高

月 別	受 配 販 賣 高	月 別	受 配 販 賣 高	月 別	受 配 販 賣 高
昭和25年 1 月	289,872	5 月	633,989	9 月	295,511
2 月	324,194	6 月	433,841	10月	422,520
3 月	601,805	7 月	542,553	11月	239,904
4 月	702,748	8 月	572,687	12月	670,204
				計	5,569,628

農地改革の現況

自作農復権特別措置法（昭和21年10月21日）公布以來現在迄の当市の農地改革状況を見ると、10月31日現在で買収し、別に譲渡した7町歩、合計12町歩強となつての内売地には買収農地、所管農地、農地等733歩あり、約4割の4町歩強は都市計画法で農地確保し、在米地戸人買収農地、常備農家の耕作地である。昭和26年からは在米地戸人所有農地の荒廃し、都市計画法地区農地の起壊等により荒廃して實施すると共にこれに伴う登記事務、交差分合等改正次第の目的達成に因つて進みつつある。

農地買収及び賣却状況

區 分	實 數			實 收			實 收 面 積			實 收 面 積		
	面	積	計	面	積	計	面	積	計	面	積	計
全 縣	8,746.01	483,439.15	172,546	8,222.13	6,774.01	14,934.44	5,378	372,863.05	17,214	2,262.02		
22年	33,388.29	483,439.15	80,636.16	115.17	17,140.25	23.62	21,410	372,863.05	17,214	2,262.02		
23年	15,817	4,701.17	6,299.01	7,723	3,771.14	4,550.07	22,212	33,799.09	56,013	54,217.05		
24年	7,609	5,111	1,270.20	2,440.24	14,766.13	17,170.07	20,570.09	19,540.07	40,111.16			
25年	1,766.09	5,922.01	7,688.10	17,000.00	5,242.28	7,050.07	20,570.09	20,177.10	40,744.19			
物 納												
計	45,266.05	67,030.01	113,144.05	24,688.25	47,752.21	72,391.97	20,570.09	201,170	40,744.19			

蘇州吳區趙振華

出 資 組	名 稱	支 所 數	同 組 數	合 計	求 得 開 費 總 額	名 稱	支 所 數	同 組 數	合 計
廣州市農業局同組合	廣州市農業局同組合	10	1	3,546	廣州市開拓農業協同組合	—	—	—	300
廣州市西部農業協同組合	廣州市西部農業協同組合	—	1	671	金鑑山開拓農業協同組合	—	—	—	30
廣州市已墾區農業協同組合	廣州市已墾區農業協同組合	—	—	61	雙溪山拓善農業協同組合	—	—	—	15
廣州市新舊農業協同組合	廣州市新舊農業協同組合	—	—	35	廣州市拓善農業協同組合	—	—	—	78
計	計	10	2	4,313	計	—	—	—	423

(明25, 12, 31現在)

畜産業の概況

休耕状況に入っていた本市の畜産業も漸く食糧事情が好轉するに伴い昭和23年初め頃から逐次家畜飼育及び飼養頭数も増加の一途を辿り最近では概々活況を示して來たのである。

本市としては今後益々畜産業の発展を期するためあらゆる手段、方策を講じているのであつて本年度畜産指導としては特に家畜の飼養管理及び疾病予防に重点を置き、更に各種講習会を開催して家畜養殖に技術的指導を強力に行うと共に、何一方農業関係にありても前述の指導は勿論、農業生産力の増強及び農家経営向上面から畜産奨励により有害化し以つて多角化農業経営方針を助長するべく努力を竭つてゐる。

家畜別飼養頭数及び家畜頭数 (昭和25.12.31現在)

牛			馬		猪		羊		山 羊		豚	
飼養者数	乳 用	役 用	飼養者数	頭 数	飼養者数	頭 数	飼養者数	頭 数	飼養者数	頭 数	飼養者数	頭 数
245	140	250	236	299	29	35	329	3.0	163	724		

家 兎		鶏		あ ひ る		七 面 鳥		蜜 蜂	
飼養者数	頭 数	飼養者数	羽 数	飼養者数	羽 数	飼養者数	羽 数	飼養者数	(群)数
1,468	7,522	7,847	39,734	14	82	3	8	35	58

牛乳、山羊乳搾乳量 (昭和25.1~12)

牛		乳		山 羊		乳	
搾 乳 頭 数	搾 乳 量	搾 乳 頭 数	搾 乳 量	搾 乳 頭 数	搾 乳 量	搾 乳 頭 数	搾 乳 量
113	1,627石	294	176石				

家畜市場における家畜取引頭数 (昭和25.1~12)

區 分	牛	馬	豚	羊	計
取引頭数	11,675頭	304頭	2,496頭	70頭	14,585頭
使用料	1,169,500圓	32,400圓	174,720圓	4,900圓	1,331,520圓

林 業

本市内には民有林 1,700町歩余りがあり、その大部分は零細農家の所有する森林で、その利用は家庭用薪炭材に使用する程度のもので、林地の活用面から見れば極めて生産性の低い森林である。本市としては農業、林業、畜産等多角化経営に発展させる方針をとり、特産樹林と農用造林を奨励して農家の経済的地位に資する目的を以て次の様な事業に着手した。

苗圃設置面積及び育苗本数

設置場所	苗圃面積	育 苗		用 途 別	備 考
		種 類	本 数		
宇 品	3	アルバーター アカシヤ	3,200	公園街路樹用	南京ハゼ、トゲナシアカシヤ、イタチハギは共に置換林を育成して林地の増進を図る。これに特産樹の鉄樹を混植する。
		油 桐	8,000		
		南 京 ハゼ	20,000	農用造林用	
東 雲	2	トゲナシアカシヤ	7,000		
		イタチハギ	3,000		
計	5	—	41,200		

昭和26年度造林計画

種 別	一 般 造 林	農 用 造 林	特 産 造 林
面 積	10町歩	13町歩	10町歩

水産業の概況

天然の道楽に恵まれた本市の水産業も、更に漁場を水年の盛況を生かして高産を誇つていたが戦時中及び戦後に於ける混乱状態より脱し得ず無秩序のまま渾沌し來り、現在に於てもこれが慣性の影響を受け漁場は益だしく荒廃し魚獲の激減を蒙らしつつあるのであつて眞に返りべき現状である。

然しながら昭和25年3月14日施行の新漁業法に基づき漁業の根本的刷新改革が漸く軌道に乗り、漁民を主体とした漁業関係機関と漁民の自覚的努力により、今やこれが漁場秩序の確立を見つつある事は、本市水産界盛衰への再出発の曙光を認めたものであり將來を大いに期待される。

牡蠣並びに漁網

本市の牡蠣の生育状況は頗る良好であつたが、秋期に於て突如として襲つた颱風キギアのためその漁獲の7割を破棄損失せしめられた事は甚だ、広島かきにとつての大打撃で、振興建造しのため一大奮起が要求せられている。

何あざりば育苗、繁殖状況共に極めて良好で生産量の増進を予想されたがキギア颱風の襲来により流失、或は土砂による埋没等の災害を蒙り年間生産量の3割を失滅した。

海 苔

海苔は竹炭産地当時は胎子の附着状況が極めて順調で今年こそはと期待を予想されたが、昨年同期に氣候の異変に災され約4割の生産減收を余儀なくされた。

育苗繁殖数は次の通りである。

廣島市形交換所取扱状況

年 分 月 別	交 換		不 渡	
	枚 数	金 額	枚 数	金 額
昭和23年度	424,557	49,795,830	—	—
昭和24年度	801,143	140,251,401	—	—
昭和25年4月	58,019	10,354,401	27	1,418
5月	65,774	11,976,601	84	3,610
6月	62,385	10,755,664	43	1,923
7月	63,729	11,972,318	52	3,141
8月	67,986	12,081,050	52	4,763
9月	62,764	11,324,366	54	1,787
10月	65,845	11,211,566	35	1,672
11月	64,366	11,105,322	21	774
12月	82,610	15,536,187	19	447
昭和25年 計	595,072	106,317,475	386	19,535

郵便貯金取扱状況

(口座及口数単位は千口)

年 分 月 別	廣 島 地 方 貯 金 局			廣 島 市 内 郵 便 局 取 扱 高		
	預 入 高	掛 戻 高	月末現在高	通 常 貯 金	定 期 預 金	
月 別	口 数	金 額	口 数	金 額	口 数	金 額
	口 数	金 額	口 数	金 額	口 数	金 額
昭和19年度	—	—	—	—	—	—
20年度	—	—	—	—	—	—
21年度	—	—	—	—	—	—
22年度	—	—	—	—	—	—
23年度	—	—	—	—	—	—
24年度	—	—	—	—	—	—
25年	—	—	—	—	—	—
1月	207	585,822	266	365,608	5,476,304	277,39
2月	113	420,764	119	349,320	5,471,376	721,35
3月	117	463,415	98	380,376	5,489,830	761,30
4月	124	481,497	112	381,583	5,501,930	674,33
5月	174	598,250	136	464,550	5,538,084	374,36
6月	150	469,491	171	375,310	5,517,618	555,37
7月	153	569,884	201	430,949	5,469,431	490,28
8月	130	504,937	202	454,799	5,397,436	667,35
9月	116	460,587	189	435,281	5,324,432	773,42
10月	104	447,527	167	426,234	5,200,414	636,44
11月	120	459,161	141	419,199	5,239,454	628,41
12月	137	481,836	188	480,849	5,188,455	615,44

郵便振替貯金

年 分 月 別	廣 島 地 方 貯 金 局			廣 島 市 内 郵 便 局 取 扱 高		
	新 規 契 約	保 險 金 支 拂	月 末 現 在 契 約 高	受 入 金 額	掛 出 金 額	受 入 金 額
月 別	口 数	金 額	口 数	金 額	口 数	金 額
	口 数	金 額	口 数	金 額	口 数	金 額
昭和19年度末	—	—	—	—	—	—
20年度末	—	—	—	—	—	—
21年度末	—	—	—	—	—	—
22年度末	—	—	—	—	—	—
23年度末	—	—	—	—	—	—
24年度末	—	—	—	—	—	—
25年	—	—	—	—	—	—
1月	25	56,118,145	118,302	14,832	57,287	3,330
2月	29	63,90,462	93,170	14,799	54,578	3,183
3月	62	18,119,534	114,763	14,853	59,349	3,640
4月	51	23,80,750	82,541	14,822	57,558	3,276
5月	78	28,87,378	87,107	14,942	57,229	3,538
6月	37	93,235	101,794	14,908	50,710	3,741
7月	49	72,107,042	99,887	14,835	57,853	3,152
8月	22	65,120,254	119,332	14,862	58,785	3,691
9月	28	68,123,714	119,922	14,801	62,032	4,000
10月	27	70,148,818	140,072	14,759	74,773	4,234
11月	55	42,137,357	149,422	14,772	58,108	4,135
12月	71	15,157,362	172,330	14,828	43,770	5,234

簡易保険取扱状況 (廣島市内)

年 分 月 別	新 規 契 約		保 險 金 支 拂		月 末 現 在 契 約 高	
	口 数	金 額	口 数	金 額	口 数	金 額
昭和24年12月末	—	—	—	—	120,193	11,215,396
昭和25年	—	—	—	—	—	—
1月	981	33,100,000	629	154,593	119,783	11,067,273
2月	1,086	34,920,000	1,266	161,066	117,651	11,147,064
3月	1,470	48,380,000	736	278,923	115,116,167	11,111,167
4月	1,574	51,445,000	519	211,738	112,585	11,244,292
5月	2,000	66,445,000	757	389,915	110,532	11,492,324
6月	2,075	72,003,000	850	333,682	108,716	12,289,318
7月	1,514	53,325,000	709	474,438	105,112	12,533,367
8月	1,148	37,305,000	846	513,762	102,819	12,709,222
9月	1,868	61,785,000	649	473,694	98,848	12,383,676
10月	1,747	63,635,000	692	435,426	97,464	12,514,923
11月	2,004	82,300,000	603	512,564	97,206	12,995,736
12月	2,406	97,960,000	864	796,984	97,818	13,636,981
計	20,023	703,615,000	9,120	5,096,748	—	—

備考 新規契約及び保険金支拂額は普通局(廣島、静岡、宇部三局)のみであつて
月末現在契約高は普通局及び特定局の合計である。

国民食糧公庫の生業資金貸付別産別状況表 (昭和25年)

区 分 月 期	商		業		工		製		農		漁		水産物		その他		計	
	貸付 件数	人 員	貸付 金額	貸付 利率	貸付 件数	人 員	貸付 金額	貸付 利率	貸付 件数	人 員	貸付 金額	貸付 利率	貸付 件数	人 員	貸付 金額	貸付 利率	貸付 件数	人 員
1 月	20	22	1,480	—	12	18	1,510	—	1	1	100	—	1	1	100	—	42	54
2 月	24	35	3,100	—	15	15	1,440	—	—	—	—	—	—	—	—	—	56	45
3 月	31	43	4,045	—	9	25	220	—	1	1	50	—	—	—	—	—	74	6,975
4 月	24	26	2,580	—	7	20	1,500	—	—	—	—	—	—	—	—	—	51	4,450
5 月	25	28	2,860	—	7	18	1,575	—	—	—	—	—	—	—	—	—	55	5,215
6 月	25	35	3,415	—	24	48	3,910	—	—	—	—	—	—	—	—	—	94	8,375
7 月	21	30	2,270	—	14	40	3,000	—	1	1	100	—	—	—	—	—	74	5,550
8 月	18	44	3,910	—	11	12	1,320	—	1	1	50	—	—	—	—	—	61	5,520
9 月	31	53	4,760	—	7	9	460	—	—	—	—	—	—	—	—	—	72	5,720
10 月	12	18	1,520	—	4	5	480	—	—	—	—	—	—	—	—	—	23	2,010
11 月	31	43	2,940	—	10	16	1,170	—	1	1	50	—	—	—	—	—	62	4,230
12 月	74	103	9,680	—	21	42	3,800	—	3	3	250	—	—	—	—	—	174	16,180
計	337	433	42,770	—	143	268	22,765	—	8	8	600	—	—	—	—	—	828	71,760

貿易

広島港の昭和25年1月1日禁港指定を受けたことは本市貿易にとつて劇断的のことであり、業界を驚愕し活気を喪失したものであった。爾來輸出入貿易は次第に活況を加へると共に諸地方の輸出入物資の枯渇、陸揚げは広島港でと云ふ方針に向つて進んでいる。

昭和25年中に於ける外国貿易船舶の出入隻数は39隻、広島港としての主要輸出品は木材類、シン針、食料品等、主要輸入品は食糧、軍需物資、紗線等で輸出入貨物価格に於ては12億7千5百餘萬円となつてゐる。

向広島市生産品の輸出入増加に因り、次表の通り騰価、ソーダー、麵粉が目立っている。

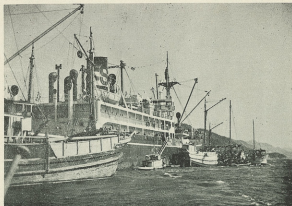
広島市生産品輸出貨積 (昭和25年中)

品 目	数 量	金 額	仕 向 地
穀 類	224,334万本	282,799,391	印度、北米、南米、南阿 メキシコ、イラン、パキスタン
蕎 麦	5,510v	4,050,121	南 米
フラワーピン	4,486v	22,449,056	北 米
イ シ ン	41v	1,645,200	南 洋
ホーロー 鐵 器	57,530クロス	17,241,851	印 度
和 傘	15,864本	2,419,360	ハ ワ イ
ぶ つ だ ん	16セフト	203,880	北 米
精 米 麥 類	35組	1,761,450	佛領コンゴ、パキスタン、パン ラツタ
機 草 機 織	10台	8,477,969	台湾、フィリピン
グルタモン酸ソーダ	30,815kg	34,456,165	ハワイ、台湾
味 付 の り	1,018箱	557,104	ハワイ、北米
煙 草	155,341箱	427,214,014	ハワイ、北米、印度
機械及び部品	—	25,083,751	台 湾
ゴム 草 履	42,912双	5,613,594	ハ ワ イ
スポンヂ 草 履	2,770v	997,900	〃
スポンヂボール	5打	1,440	〃
ゴム 長 靴	456足	147,420	〃
計		835,719,665	

註 上記は広島市内で生産された輸出貨物であるが、實際の船舶運送は広島港に限らない。

廣島港外國貿易船舶國籍別出入表 (廣島税關支署調)

月別	區分	國 籍	入港隻數	登 荷 屯 數	出港隻數	登 荷 屯 數
昭和24年計			隻	トン	隻	トン
		日本、米國、台灣、香港	4	5,776	10	17,646
昭和 二 十 五 年	1 月	日 本	1	1,134	1	1,134
	2 月	〃	1	1,105	1	1,105
	3 月	〃	2	7,772	—	—
	4 月	〃	1	7,150	—	—
		中 華 民 國	1	4,922	—	—
	5 月	日 本	1	2,497	—	—
		中 華 民 國	1	—	1	4,922
	6 月	日 本	1	448	1	2,497
		中 華 民 國	1	—	1	93
	7 月	日 本	1	2,090	1	2,090
		中 華 民 國	1	93	—	—
	8 月	日 本	2	9,716	2	9,716
十 五 年		中 華 民 國	1	—	1	93
	9 月	日 本	1	2,070	1	2,070
		中 華 民 國	2	43	—	—
	10 月	日 本	1	4,427	1	4,427
		中 華 民 國	—	—	2	43
	11 月	日 本	1	2,001	1	2,001
		中 華 民 國	1	—	—	—
	12 月	日 本	1	2,789	2	5,524
		中 華 民 國	1	97	—	—
	計	—	27	43,396	18	35,759



廣 島 港

廣島港貿易表

(廣島税關支配額)

区分	年月別	仕向國及 仕出港	價 格	揚荷屯直 積荷屯数	品 種 別
輸 出 の 部	昭和24年計	グアム、沖縄 韓国、古 洲	105,523,419	10,122	木材、枕木、雜誌
	1月	—	—	—	—
	2月	米 國	3,978	—	奢侈製品 (見本)
	3月	〃	72,237	—	ミシン針
	4月	米國、イラン 台湾	9,145	—	万年筆、新聞、針 (見本)
	5月	古 洲	4,202,523	550	標材、食糧品
	6月	〃	3,101,817	830	食糧品
	7月	〃	522,594	1	ミシン針、食糧品
	8月	〃	1,587,044	307	食糧品
	9月	—	63,684	61	食糧品 (外國航行、内國船用品)
	10月	沖縄、古 洲	418,442	11	海人草、ミシン針、食糧品
	11月	—	23,050	—	食糧品 (外國航行、内國船用品)
	12月	古 洲	554,354	7	ミシン針
	計	—	10,572,898	1,767	—
輸 入 の 部	昭和24年計	英 國、以 馬 韓 國	187,901,744	12,914	軍放出物資、砂糖、牛皮
	1月	英 國	9,086,263	206	軍放出物資
	2月	—	—	—	—
	3月	泰 國	630,469,652	13,441	米
	4月	〃	197,331,481	4,344	米
	5月	泰 國、沖 繩	194,276,042	4,416	米、海人草
	6月	韓 國、西 獨	103,014,727	2,899	米、塩化無罪
	7月	古 洲	71,280	—	パイ離
	8月	泰 國、沖 繩	115,388,374	2,508	米、貝殻
	9月	沖 繩	4,433,962	18	海 人 草
	10月	英 國	9,829,260	128	軍放出物資
	11月	—	—	—	—
	12月	英 國	1,404,000	28	軍放出物資
	計	—	1,255,305,041	27,912	—

國鉄による月別品種別貨物發送電量表

品 種 別	年 月 別	昭和 24年度											
		昭和 23年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	
小	鉄 道	37,692	20,576	1,417	1,539	1,701	1,834	2,019	2,239	2,195	3,080	17,465	電
	貨 物	9,514	1,039	28	40	88	24	41	68	12	51	417	電
	米 穀	20,003	20,137	1,495	220	1,410	190	395	3,338	1,302	330	9,070	電
	油	3,616	3,403	420	239	242	242	305	260	167	377	2,695	電
	石炭及びタール	5,589	10,428	500	422	1,458	424	1,032	913	588	1,197	6,781	電
中	紙	634	9,202	237	528	283	888	335	187	595	214	3,557	電
	鐵礦石及砂岩製品	6,018	6,176	211	40	324	127	140	127	60	20	1,273	電
	セメント	41,895	75,417	3,341	2,508	2,888	2,439	3,166	2,408	3,734	3,302	26,830	電
	金屬及び陶製品	20,382	45,877	1,540	4,160	3,385	237	400	1,135	1,611	980	15,048	電
	肥料	19,938	15,253	1,548	2,265	1,686	3,243	2,875	2,700	3,586	1,557	20,229	電
大	木材	5,769	3,834	237	302	315	232	410	250	285	395	2,696	電
	藥品	770	1,728	179	331	640	327	157	376	362	487	3,230	電
	魚 類	511,351	312,520	29,567	26,837	30,621	29,395	27,473	31,016	27,514	28,855	256,019	電
	その他雜貨	645,623	505,166	29,137	38,243	42,237	36,819	35,757	42,487	39,208	35,833	347,787	電
	計	683,321	525,742	40,554	38,601	43,938	38,653	38,776	44,823	41,403	38,913	365,283	電

品別	昭和二十五年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
小計	31,565	15,906	15,906	15,906	15,906	15,906	15,906	15,906	15,906	15,906	15,906	15,906
炭	4,432	5,182	5,182	5,182	5,182	5,182	5,182	5,182	5,182	5,182	5,182	5,182
石油	48,276	58,437	58,437	58,437	58,437	58,437	58,437	58,437	58,437	58,437	58,437	58,437
石炭及びコークス	3,163	2,391	2,391	2,391	2,391	2,391	2,391	2,391	2,391	2,391	2,391	2,391
鐵礦石及び同製品	140,600	141,781	141,781	141,781	141,781	141,781	141,781	141,781	141,781	141,781	141,781	141,781
金属材料	12,354	27,930	27,930	27,930	27,930	27,930	27,930	27,930	27,930	27,930	27,930	27,930
金屬及び同製品	6,218	9,170	9,170	9,170	9,170	9,170	9,170	9,170	9,170	9,170	9,170	9,170
木材	92,810	74,851	74,851	74,851	74,851	74,851	74,851	74,851	74,851	74,851	74,851	74,851
農產品	5,237	8,972	8,972	8,972	8,972	8,972	8,972	8,972	8,972	8,972	8,972	8,972
其他貨物	113,950	35,011	35,011	35,011	35,011	35,011	35,011	35,011	35,011	35,011	35,011	35,011
其他貨物	6,161	5,322	5,322	5,322	5,322	5,322	5,322	5,322	5,322	5,322	5,322	5,322
其他貨物	19,729	23,546	23,546	23,546	23,546	23,546	23,546	23,546	23,546	23,546	23,546	23,546
其他貨物	233,074	311,122	311,122	311,122	311,122	311,122	311,122	311,122	311,122	311,122	311,122	311,122
其他貨物	687,082	702,955	702,955	702,955	702,955	702,955	702,955	702,955	702,955	702,955	702,955	702,955
其他貨物	718,547	724,811	724,811	724,811	724,811	724,811	724,811	724,811	724,811	724,811	724,811	724,811
其他貨物	12,349	12,349	12,349	12,349	12,349	12,349	12,349	12,349	12,349	12,349	12,349	12,349
其他貨物	5,336	5,336	5,336	5,336	5,336	5,336	5,336	5,336	5,336	5,336	5,336	5,336
其他貨物	22,141	22,141	22,141	22,141	22,141	22,141	22,141	22,141	22,141	22,141	22,141	22,141
其他貨物	2,958	2,958	2,958	2,958	2,958	2,958	2,958	2,958	2,958	2,958	2,958	2,958
其他貨物	147,827	147,827	147,827	147,827	147,827	147,827	147,827	147,827	147,827	147,827	147,827	147,827
其他貨物	13,328	13,328	13,328	13,328	13,328	13,328	13,328	13,328	13,328	13,328	13,328	13,328
其他貨物	4,231	4,231	4,231	4,231	4,231	4,231	4,231	4,231	4,231	4,231	4,231	4,231
其他貨物	14,926	14,926	14,926	14,926	14,926	14,926	14,926	14,926	14,926	14,926	14,926	14,926
其他貨物	6,507	6,507	6,507	6,507	6,507	6,507	6,507	6,507	6,507	6,507	6,507	6,507
其他貨物	13,420	13,420	13,420	13,420	13,420	13,420	13,420	13,420	13,420	13,420	13,420	13,420
其他貨物	3,638	3,638	3,638	3,638	3,638	3,638	3,638	3,638	3,638	3,638	3,638	3,638
其他貨物	27,402	27,402	27,402	27,402	27,402	27,402	27,402	27,402	27,402	27,402	27,402	27,402
其他貨物	293,053	293,053	293,053	293,053	293,053	293,053	293,053	293,053	293,053	293,053	293,053	293,053
其他貨物	510,378	510,378	510,378	510,378	510,378	510,378	510,378	510,378	510,378	510,378	510,378	510,378
其他貨物	522,727	522,727	522,727	522,727	522,727	522,727	522,727	522,727	522,727	522,727	522,727	522,727

國鐵主要品別貨物到港電數

年度 及月別	發 送 電 數					到 着 電 數				
	廣 島	已 斐	橫 川	宇 品	計	廣 島	已 斐	橫 川	宇 品	計
昭和23年度	492,508	46,097	30,483	114,233	683,321	496,621	58,768	105,742	57,516	718,647
昭和24年度	335,187	50,656	30,758	109,141	525,742	316,605	78,790	64,351	65,098	724,813
昭和25年度	29,411	4,637	2,100	4,403	40,554	44,126	7,254	4,542	5,734	67,656
4月	28,394	3,279	2,15	5,780	39,603	42,983	5,825	4,494	5,107	58,409
5月	28,870	3,221	2,547	3,958	38,596	39,463	4,627	3,313	4,025	51,436
6月	31,465	3,937	2,385	6,131	43,938	46,823	4,627	3,050	4,925	59,495
7月	29,735	3,936	2,698	2,305	38,663	39,883	6,159	3,977	4,043	64,062
8月	29,568	3,803	2,533	2,870	38,776	41,331	6,494	4,969	2,485	55,299
9月	29,127	5,362	2,448	7,889	44,826	40,576	7,626	4,999	6,143	59,344
10月	28,028	4,693	3,303	5,379	41,403	41,830	6,794	4,953	6,914	60,491
11月	28,230	5,048	2,808	2,837	38,913	43,119	8,399	5,336	5,623	62,475
12月	262,838	37,997	22,973	41,455	365,263	380,150	57,805	33,633	45,139	522,727

廣島電鐵株式會社電車乗客數

年度 及月別	市 内 線					宮 島 線				
	區 間	往 來	行 車	乘 客	數	區 間	往 來	行 車	乘 客	數
昭和20年度	12,000	1,490	527	5,486	9	3,613	818	301	11,413	5,700
昭和21年度	8,942	1,303	320	23,687	185	4,078	885	767	9,985	5,333
昭和22年度	13,357	2,214	259	40,033	973	8,749	630	546	10,654	439
昭和23年度	20,854	3,297	019	35,812	957	15,855	931	5,860	1,176	734
昭和24年度	27,784	4,042	681	32,166	487	14,829	780	6,681	1,242	054
昭和25年度	27,784	4,042	681	32,166	487	14,829	780	6,681	1,242	054
4月	2,446	373	611	3,061	993	1,402	503	635	109	876
5月	2,489	354	332	2,691	114	1,468	140	618	108	423
6月	1,933	280	442	2,055	770	1,243	933	491	89	666
7月	1,315	217	185	2,210	006	1,055	340	442	88	179
8月	2,214	234	423	2,673	198	661	980	571	111	801
9月	2,441	321	903	2,101	799	1,299	820	535	105	272
10月	2,612	369	675	2,526	203	1,491	060	599	111	716
11月	2,520	360	923	2,331	499	1,156	560	540	110	239
12月	2,821	378	587	2,357	942	1,076	580	605	111	923
計	20,491	2,951	033	22,079	526	10,815	900	4,996	947	097

国鉄バス乗客数

年別	区別	管内線				管内線			
		運轉定行		乗客数		運轉定行		乗客数	
		延台数	延行数	乗客数	人	延台数	延行数	乗客数	人
昭和24年		6,380	683,036	67,423	34,560	9,555	1,407,079	1,624,315	402,518
1月		559	56,315	6,500	3,600	942	146,029	198,632	27,013
2月		498	51,665	5,620	2,520	956	120,908	177,446	27,274
3月		537	56,971	6,320	2,760	969	116,880	189,319	28,063
4月		493	55,584	6,000	2,920	939	121,317	209,040	28,589
5月		524	57,160	6,050	3,720	976	127,990	198,769	31,029
6月		504	57,511	6,329	3,208	939	130,727	189,756	41,074
7月		590	64,265	7,644	4,070	1,053	141,424	204,666	54,256
8月		619	84,746	7,510	3,720	1,080	152,278	208,378	55,659
9月		560	76,945	6,329	2,924	989	142,258	202,618	40,999
10月		575	83,568	8,800	3,650	1,050	150,919	198,786	48,111
11月		557	83,022	8,250	3,900	1,001	145,029	217,799	43,229
12月		574	84,529	9,120	4,200	1,071	154,630	240,713	42,214
計		6,584	811,867	87,102	41,198	11,965	1,654,039	2,435,112	467,462

広島電鉄株式会社バス乗客数

年別	区別	市内線				市外線			
		運轉定行		乗客数		運轉定行		乗客数	
		延台数	延行数	乗客数	人	延台数	延行数	乗客数	人
昭和20年		3,540	162,331	1,535,540	4,059	645,302	1,257,647		
21年		2,969	239,617	1,780,908	4,402	1,121,170	1,999,039		
22年		3,709	207,983	1,537,439	5,324	1,423,216	2,082,005		
23年		2,933	201,904	1,247,843	6,164	1,683,559	2,111,578		
24年		5,875	524,654	2,311,418	7,701	924,190	1,785,879		
1月		1,146	107,371	437,920	1,952	223,449	385,042	6,780	
2月		1,187	107,742	470,251	1,632	211,003	379,727	6,200	
3月		1,224	126,714	520,266	1,939	237,293	440,823	6,984	
4月		1,214	137,304	583,883	2,072	263,774	471,247	5,616	
5月		1,231	149,008	542,695	53,340	2,173	272,210	458,418	6,287
6月		803	99,068	405,639	22,140	1,939	227,124	328,386	6,660
7月		523	63,272	322,241	75,480	2,132	243,956	338,400	4,739
8月		1,022	120,413	465,708	39,660	2,303	283,938	456,245	2,700
9月		1,193	142,309	499,207	44,020	2,119	252,401	404,547	8,440
10月		1,254	151,077	494,125	68,680	2,342	289,029	459,898	8,012
11月		1,374	153,307	461,403	94,200	2,169	243,579	478,330	10,878
12月		1,290	160,461	518,378	88,330	2,324	300,108	489,347	15,690
計		13,462	1,518,040	5,681,316	485,850	25,115	3,101,088	5,126,982	92,552



市内路面電車



市内を快走るバス

広島電鉄バス市内線路線別距離

線 名	區 間	距 離	線 名	區 間	距 離
洞 崎 線	廣島驛—杵 本	4.6	己 斐 線	己 斐—旭 町	7.24
曙・彌 庭 線	〃 — 縣 庭	3.03	觀 音 線	篠野橋—綜合グランド	4.35
牛 田 線	〃 — 牛 田	2.55	江 波 線	〃 — 江 波	2.98
篠野橋・牛田線	篠野橋—牛 田	4.6	横川・彌庭線	横 川—彌 庭	6.3
横 川 線	廣島驛—横 川	6.8			

広島電鉄バス市外線路線別距離

線 名	區 間	距 離	線 名	區 間	距 離
矢 野 線	廣島驛—矢 野	8.55	大 朝 線	廣 島—大 朝	64.8
府 中 〃	〃 — 府 中	4.03	出 羽 〃	〃 — 出 羽	82.2
小 河 原 〃	〃 — 小河原	12.9	戸 山 〃	〃 — 戸 山	30.2
熊 野 〃	廣 島—熊 野	18.56	会 山 〃	〃 — 会 山	24.4
大 塚 〃	廣 島—大 塚	19.6	八 幡 〃	布加計—八 幡	40.5
上 水 内 〃	〃 — 宇多田	45.3	八 重 〃	壬 生—加 計	51.7
久 日 志 〃	〃 — 久日市	45.6	坂 原 〃	布 — 坂 原	27.5
廣 三 〃	〃 — 三 次	71.2	津 田 〃	廿日市—津 田	23.5
吉 田 口 〃	吉 田—吉田口	7.1	本 郷 〃	〃 — 本 郷	46.8
生 廣 〃	廣 島—生 田	74.3	吉 和 〃	〃 — 吉 和	51.9
阿 須 郡 〃	吉 田—阿須郡	92.2	大 竹 〃	〃 — 大 竹	22.4
本 村 埠 〃	〃 — 本 村	61.6	篠 原 〃	〃 — 市 野	30.2
摩 直 原 〃	廣 島—摩直原	80.4	石 内 〃	〃 — 石 内	11.4
戸 河 内 〃	〃 — 三股峡	67.6	原 〃	〃 — 原	4.3
後 山 〃	〃 — 布	23.1	玖 島 〃	〃 — 玖 島	24.9
瀬 山 〃	瀬 山—布	17.7	栗 谷 〃	玖 波—栗 谷	23.6
都 谷 〃	栗 谷—廣 島	57.1	玖 波 〃	〃 — 本 郷	42.5
志 路 原 〃	志路原— 〃	53.2			

廣島バス株式会社事業状況

區 分		延 傳 延 古 數	定 行 延 新 數	背 趙 乘 容 數
月 別		合 計	合 計	人 數
昭和25年9月		630	90,569	142,744
10月		682	98,927	218,419
11月		669	88,831	212,967
12月		734	102,193	239,404
計		2,715	380,520	813,536

備考、本社は昭和25年9月運行開始

廣島バス市内線路線別距離

東部種蜜蝋	10.7軒	県庁線	横川駅—県庁	6.6軒
横川線	広島駅—横川駅	草津線	広島駅—草津町	9.4軒
古島線	広島駅—古島本町			

所有車圖32車圖（照25, 12, 31現在）

一併バスを貸出

分 區		延 隔 延 音 鼓	定 行 延 新 鼓	普 通 乘 客 數
月	別	合 計	合 計	合 計
明和	25年10月	118	29,874	8,619
	11月	124	30,195	12,734
	12月	122	28,656	18,009
	計	364	88,745	39,358

備考、本社は昭和25年10月運行開始

路網及び距離は、松江—広島 201軒

廣州市在籍自勤吏數

(图35.2.1现在)

區 分	乘 用				貨 物				特 殊 車	掛 下 車	合 計
	大 型 客 車	普 通 小 車	2 輪 車	單 座 車	小 計	普 通 小 車	小 計	小 計			
鐵 道	185	89	125	—	399	173	83	256	—	5	635
營 業	12	119	36	7	198	136	107	243	26	60	527
官 公 署	7	56	82	441	55	318	1,506	1,624	—	—	2,265
自 家 用	204	264	243	443	79	1,238	1,496	2,123	52	65	3,473

通信

市内の郵便局としては、普通局に広島、広島駅前、宇品、鉄道郵便局の4局があり、特定局は38局がある。

電報局には大島、大島駅前、宇品の各電報局と大島、瀬川、己斐各駅電報取扱所がある。

付電話局は広島、広島西の2局があり、別に草津郵便局内に1局が設置されている。

これらの各通信機関は年々利用度高まり、都市の復興に伴行して設備の改善と、通信速度の迅速化が進められつつある。

廣島市内郵便局數

(唱25. 12. 31現在)

總數	普通局				特 定 局			簡易局
	郵便局	鐵道郵便局	計		集配局	無集配局	計	
42	3	1	4		—	38	38	—

翻便物取扱状況

區分		内				國				外			
		通		管		小		包		通		管	
		香	通	書	留	香	通	書	留	香	通	統	包 普通のみ
引	昭和23年度 1ヶ月平均	1,914,311		21,455		3,459		3,308		11,252		6,058	—
	昭和24年 4月	1,808,283		27,461		4,520		3,463		13,890		5,855	—
	6月	1,967,124		26,597		5,589		3,175		14,334		5,167	—
	8月	2,025,911		24,933		4,412		2,795		13,523		5,035	14
	10月	2,038,203		26,583		6,468		3,720		14,238		5,147	139
	昭和25年中 1ヶ月平均	1,404,441		82,673		6,448		3,190		9,931		5,825	F
受	昭和23年度 1ヶ月平均	1,564,461		47,127		5,105		12,887		8,483		5,578	4,490
	昭和24年 4月	1,661,375		45,887		6,422		12,584		11,101		7,689	4,180
	6月	1,772,973		43,457		7,091		11,696		12,853		8,905	3,508
	8月	1,715,914		41,571		7,084		8,837		12,227		7,635	3,079
配	10月	1,793,669		47,462		8,567		8,705		12,838		5,006	3,158
	昭和25年中 1ヶ月平均	F		F		F		F		7,583		5,184	3,235

国内電報取扱状況

区 分 同 期	昭和24年度(1ヶ月平均)					昭和25年4月~12月(1ヶ月平均)				
	発信	着信	中継信	合計	料 金	発信	着信	中継信	合計	料 金
東京電報局	30,281	34,161	209,015	333,457	2,294,556	34,903	50,122	405,916	511,551	4,157,088
東京駅前電報局	21,652	24,191	1,003	46,846	1,436,314	29,051	33,307	1,224	63,592	2,084,428
名古屋電報局	5,348	8,196	127	13,673	377,867	6,789	11,947	377	19,113	444,570
大阪、横川 已往各所電報取扱状況	—	—	—	—	—	7,655	159	1,852	9,667	305,034
計	57,281	68,548	270,147	395,976	3,744,643	98,411	96,142	409,369	603,923	6,937,168

備考、市内郵便局取扱は含まない。

国際電報取扱状況

区 分 局 名	昭和24年度(1ヶ月平均)					昭和25年4月~12月(1ヶ月平均)				
	発信	着信	中継信	合計	料 金	発信	着信	中継信	合計	料 金
東京電報局	401	344	3,148	3,893	141,428	1,437	1,018	3,850	6,297	558,876

度島市より全国主要地間の電報所要時間

地 名	電報 電報	普通 電報	地 名	電報 電報	普通 電報	地 名	電報 電報	普通 電報
岡 山	分40	分80	名 古 屋	45	85	下 関	50	80
姫 路	—	95	福 井、伊 賀	—	90	小 倉	55	105
松 江	45	80	東 京	75	100	福岡、佐賀	60	100
鳥 取、長 崎	—	70	仙 台	—	160	大 分	75	90
大 阪	65	90	札幌	—	145	宮 崎	75	100
京 都	55	85	小 樽	—	125	熊本	—	120
和歌山、新潟	—	80	松 山	50	85	鹿児島	80	140
金沢、青森、 函館	—	100	高 松	—	65			
高 知	—	—	徳 島	—	95			

註、昭和25年2月中、抽出日3日間を調査。〈電報を受付けてより受信人に配達迄の所要時間〉

電話加入者数及び産業別分類表

(広島電気通信管理所課)

区 分 同 期	昭和24年4月現在			昭和26年1月現在			産業分類別加入者数	
	事業用	住宅用	計	事業用	住宅用	計	産 業 別	加入者数
広島電話局	1,475	36	1,511	3,844	37	3,881	農林業及び水産物	5,398
広島西電話局	1,220	23	1,243	1,924	14	1,938	製造業及び建設業	327
草津郵便局	104	42	146	125	28	153	商業及びサービス業	1,476
計	2,799	107	2,906	5,893	79	5,972	その他	1,925

増設電話数(私設交換機)

(昭和26.1現在)

区 分	甲 種 増 設 (交換機)			乙 種 増 設 (電話機)		
	件数	加入者	交換機	件数	加入者	増設電話機
広島電話局	57	316	89	3,072	133	3,205
広島西電話局	19	67	30	481	5	486

電話通話度数及び料金(1ヶ月平均)取扱状況

(広島電気通信管理所課)

区 分	広島局及び広島西局合計			広島国際通話所			
	市内	市外	通話度数	通話度数	通話度数	通話度数	料 金
昭和23年度 1ヶ月平均	274,409	—	24,603	—	昭和25年 8月~12月 1ヶ月平均	5	27
昭和24年度 1ヶ月平均	695,241	1,390,482	50,181	9,158	19	94	124,200
昭和25年 4月~12月 1ヶ月平均	1,283,166	2,566,331	89,735	13,454	270		

参考 通話料金(3分間)

アメリカ合衆国、カナダ	4,320回	(日曜日)
アラビア、メキシコ	5,400回	(月曜日)
大津湖(ハワイ)	4,320回	(火曜日)

港 灣

広島港は昭和23年1月開港場となつてからは数値に3年有余であるが、その建設としての歴史は甚だ古いものがあり、又昭和9年間の水きにわたつて元寇軍船給糧基地として活動した偉大な港運艦隊については広く知られている所である。この元寇軍船港であつたことは距離としての優位を充分に発揮し得なかつた要因としてあらそへぬものがあるが、その間も尚且この船舶を受けつづつ、中間回民地方の政治、経済、文化、教育、交通の一大中心地として勢い海陸交通の樞要地たる本港は古くから出入船舶も多く昭和8年1月第二種重要港湾に編入された。

広島港はその地形、自然的条件は誠に申分ない悪路の港であり、これに貿易港としての優秀な諸施設を加へ、而するに広島地方の活潑な産業経済の力を以てしたならば蓋し当分の将来は津々たる希望に満ちてゐると云へよう。

港域総面積は、7,840万平方メートル、その内泊地面積3,600万平方メートルで水深12メートル—18メートルに及び海底地形は一般に緩慢、傾斜極めて良好、気象は温和、年間通して荷役不能の日は殆んどない。

廣 島 港 の 沿革

古くから豊前郡下町として瀬戸内海沿岸の要地であり、瀬門方面並に京阪神方面との海路交通が拓けて居つた。明治維新以後は内海汽船給糧路が開港せられ貨客の交通一層隆盛となつた。明治27年山陽鉄道が広島迄開通する以前は新設、阪神方面と往來する旅客は開港で上下船するのが普通であつた。

明治13年3月	千田軍令着任
14年8月	内務省海軍水師少将ルン氏來訪、実地調査を行う
17年2月	軍港事業認可申請、同年5月認可
9月	起工式挙行、総工費30万円により工事着手
18年5月	築港現場と広島市街を連絡する新道路完成
12月	築港のため港止工事開始、同月復旧
19年1月	復旧箇所再び高潮に耐えられも致しむ
11月	第1回回廊補助金交付30年3月新築により随門破壊せらる
22年2月	第2回回廊補助金交付、千田知事以下訓諭に処せらる
9月	大暴風雨のため築港事業の大半壊滅す
11月	築港事業竣工、1. 堤防3,920間 2. 新開地面積63万坪
12月	千田知事新開地に鎮座を命ぜらる
23年4月	落成式挙行
27年6月	陸軍運輸部宇品通信部設置
28年8月	海防鉄道（宇品線）開通
28年	陸軍運輸部本部設置
大正9年11月	神戶税關宇品出張所を設置し、同時に広島市税務支所設置、外国貿易の途が開く
11年1月	広島棧橋株式会社より棧橋を市に買収
昭和7年12月	港界拡張、同時に港名を広島港と改称
8年1月	第二種重要港湾指定港に編入

5月 宇品港軍事取扱施設着

8年	宇品港は陸軍運輸部が殆んど全面的に支配することとなつたので宇品港西側に総工費40万円（運輸省直轄事業）を以て商業港の集込に着手
15年	吉島、江波、観音地等に総工費1,970万円を以て工業港築港に着手
22年3月	工業港竣工 1. 埋立地102万坪 1. 岸壁14,700米
11月	商業港竣工 1. 防砂堤1,824米 1. 防砂堤500米 1. 護岸 1. 揚物場
23年1月	開港場に指定せられた
4月	広島港修築計画樹立され工事に着手
11月27日	起工式挙行
24年4月1日	港務委員会発足
25年3月3日	輸入食糧船一隻一回開港入港

泊地及び防波堤、防砂堤

汽 船 泊 地	防 波 堤 及 び 防 砂 堤	構 造	
		名 稱	延 長
水 深	泊 地 面積	場 所	構 式
3米—7米以上	2,400	防 波 堤 外	木 500
2米—7米	50	宇品西側船溜	根式堤
2米—5米	10	宇品北側船溜	粗石方堤

港 域 図

港 域 長	21ヶ所
港 域 長	4,158米
平均幅員	13.1米
平均水深	1.80米

船舶給水、給油

種 別	場 所	經 営 者	種類及び数量	最大能力 (10時間につき)	備 考
棧橋給水	市營棧橋	廣 島 市	給水栓 1ヶ所	400	造
〃	縣營棧橋	廣 島 縣	〃 1ヶ所	400	〃
〃	元軍用棧橋	國 有	〃 2ヶ所	800	〃
給 水 船	〃	廣 島 市	ダイセル 300瓩	600	1隻
〃	水 野 造 船	水 野 造 船	〃 300〃	600	1ヶ
給 油 船	宇 品 町	富士谷両商	石油發賣機	114	2ヶ
〃	〃	岡 光 興 産	〃	139	1ヶ
〃	〃	藤 澤 振 興	ダイセル200馬力	700	1ヶ

船舶進修設備及び進修隻数

區 分	船台、船渠		乾ドック		浮ドック		附 属 荷役機械		昭和25年中船舶進修実績			
	上乗し うる最 大船舶		入渠し うる最 大船舶		入渠し うる最 大船舶		起重機 噸重		隻数		進修隻数	
	トン	合	トン	合	トン	合	基	隻	基	隻	トン	隻
西日本造船株式會社廣島造船所	12,000	3	—	—	—	—	89	1	—	—	16,150	11
株式會社 宇品造船所	1,000 300 150 60	1 1 1 2	—	—	—	—	11	—	2	—	600	38
株式會社 廣島海技造船所	100	1	—	—	—	—	2	—	—	—	50	3,200
株式會社永野造 船所廣島工場	2,000 1,000 75	1 1 2	10,000	1	500	1	17	—	—	—	67	63,777

倉庫、上屋、野積場、貯炭場設備状況

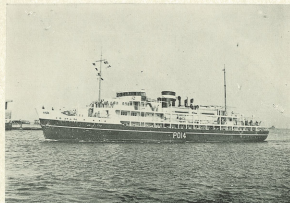
區 分	12月末日現在			年間取扱数量(昭和25年中)		
	棟数又は 箇所数	總面積	収容能力	出	入	計
倉庫(一般用)	80 50 33	平方 17,351 25,618	トン 37,316 37,000	トン 54,850 12,687	トン 53,649 10,027	108,499 22,714
上屋(一般用)	7 3	2,668 221	4,910 328	28,205 280	25,949 266	54,154 546
野積場(一般用)	ケ所 3	3,268 52,959	2,350 53,350	3,956 28,412	3,600 25,300	7,556 53,712
貯炭場(一般用)	12	13,725	16,466	78,935	44,347	123,282

荷役能力

區 分	3月末現在			6月末現在			9月末現在			12月末現在		
	登	備	臨時	常	備	臨時	登	備	臨時	登	備	臨時
船内仲仕	人 9	人 128	人 10	人 5	人 40	人 4	人 —	人 15	人 1	人 2	人 36	人 —
沿岸仲仕	— 9	— 138	— 5	— 44	— 16	— 2	— 16	— 2	— 36	— 169	— 8	— 157
装 荷 仕	— —	— —	— —	— 2	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
はしけ船夫	15 15	50 50	16 16	22 22	9 9	— —	13 13	— —	— —	— —	— —	— —
ひき船手員	55 2 57	1 — 1	40 2 42	30 1 31	— — —	33 — 33	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —
その他	34 35	21 21	2 2	1 1	3 3	6 6	26 27	— —	— —	— —	— —	— —
合 計	205 12 217	309 25 334	146 7 153	151 19 170	176 17 193	229 48 278	127 4 131	211 9 220	— — —	— — —	— — —	— — —

本船荷役状況 (昭和25年中の實績)

月別	區分	品 種 別 取 扱 ト ン 数								荷役口数	従事者 荷役本	
		薪炭類	石灰及 セメント	金属屑 及銅屑	肥料	木材類	その他	計	労働者数		船隻数	
		トン	トン	トン	トン	トン	トン	トン	トン	口	人	隻
1月	積揚	—	135	244	1,725	—	—	2,104	—	7	93	5
2月	積揚	—	430	293	516	—	195	1,434	—	7	87	5
3月	積揚	13,424	—	—	1,656	—	—	15,080	—	14	839	5
4月	積揚	4,299	—	—	1,250	—	100	5,649	—	14	251	4
5月	積揚	4,400	—	—	1,362	—	947	5,959	—	15	385	5
6月	積揚	810	360	—	2,000	—	—	3,170	—	7	161	4
7月	積揚	—	1,110	—	2,015	—	132	3,277	—	28	583	5
8月	積揚	2,979	—	—	—	—	—	2,979	—	17	306	4
9月	積揚	2,500	750	—	—	—	—	3,250	—	14	173	7
10月	積揚	—	540	—	1,149	—	505	1,994	—	9	400	6
11月	積揚	—	447	317	—	2,000	—	1,016	—	5	94	4
12月	積揚	—	1,018	—	—	—	160	1,178	—	11	279	11
合計	積揚	2,979	—	3,926	—	—	2,947	5,925	—	148	3,711	65
	揚揚	25,453	8,516	851	11,573	—	2,405	48,781	—			



広島、別府航路定期船の入港

は し け 数

年 月 別	區 分	貨 物 存 数				貨 在 存 数							
		船 舶 数		積 載 延貨数		50トン未満		50トン～100トン		100トン以上		計	
		隻数	トン数	トン数	延貨数	隻数	トン数	隻数	トン数	隻数	トン数	隻数	トン数
		隻	トン	トン	延	隻	トン	隻	トン	隻	トン	隻	トン
昭和24年	70	2,301	23,514	335	{ はしけ — 								

ひき船数

区 分	船 数								総 操 縦 馬 力
	50トン未満		50トン～100トン		100トン以上		計		
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	
昭和24年末	18	50 82	1	99	2	203	4	352	1,390 1,770
昭和25年末	14	49 199	1	99	2	234	4	394 199	1,380 1,770

船舶乗降人員表 (1ヶ月平均)

区分	昭和23年		昭和24年		昭和25年	
	乗客数	降客数	乗客数	降客数	乗客数	降客数
航 路	人	人	人	人	人	人
別 府	928	752	721	583	380	482
宇 和	310	535	484	933	571	929
能 率	—	—	6,169	6,205	6,471	7,079
今 治	2,992	4,317	2,634	3,454	3,127	3,003
中 津	3,055	3,053	2,301	2,516	2,481	2,513
大 阪	3,103	3,137	1,598	1,987	1,682	1,770
東 海	9,791	9,995	8,519	9,805	9,382	9,972
大 阪	10,025	10,750	7,402	8,539	6,981	7,528
別 府	4,250	3,935	3,291	3,259	2,903	3,463
大 阪	393	409	1,407	1,217	1,922	2,415
大 阪	—	—	1,143	1,384	1,167	1,199
大 阪	—	—	—	—	186	195
合 計	34,857	35,842	35,669	39,852	33,377	35,846

入 港 船 船 (昭和25年中)

() は内外航船を示す

区分	汽 船		機 船		航 船		計	
	船数	総トン数	船数	総トン数	船数	総トン数	船数	総トン数
貨客	(12)	(37,379)	(57,365)	—	—	—	(12)	(37,379)
船	7,132	997,321	1,081,149	3,096,129	841	203,940	944	10,233,112
漁船	—	—	20	328	519	—	20	328
その他	—	—	—	—	—	—	—	—
計	(12)	(37,379)	(57,365)	—	—	—	(12)	(37,379)
船	7,132	997,321	1,081,149	3,116,130	1,672,045	5	28	44

入港船舶トン数階級別 (昭和25年中) () は内外国船を示す

區 分	汽 船		機 関 船		帆 船		計	
	隻 数	トン 数	隻 数	トン 数	隻 数	トン 数	隻 数	トン 数
10,000トン未満	(2) 7	(13,663) 46,974	—	—	—	—	(2) 7	(13,663) 46,974
5,000トン未満	(6) 213	(22,498) 284,818	—	—	—	—	(6) 213	(22,498) 284,818
1,000トン未満	(1) 81	(873) 65,109	—	—	—	—	(1) 81	(873) 65,109
500トン未満	(1) 3,027	(191) 409,741	113	14,870	—	—	(1) 3,140	(191) 424,611
100トン未満	(2) 3,232	(154) 182,585	2,032	102,782	—	—	(2) 5,484	(154) 285,367
20トン未満	552	8,094	771	12,515	5	28	1,328	20,637
計	(12) 7,132	(57,379) 597,321	3,116	130,167	5	28	(12) 10,253	(57,379) 1,127,516

広島港輸移出入貨物

區 分	品 種						計	価 格
	米穀類	石炭及び コークス	セメント	金属及び 同製品	木材類	その他		
輸移出	トン 4,916 16,172	トン 48,001 53,181	トン 1,898 476	トン 36,037 30,303	トン 66,639 21,071	トン 24,335 16,101	179,885 146,501	1,258,885 1,080,038
輸移入	昭和24年 34,971	昭和24年 139,161	昭和24年 37,247	昭和24年 9,118	昭和24年 9,730	昭和24年 85,522	305,283	2,701,743
	昭和25年 34,971	昭和25年 90,732	昭和25年 15,741	昭和25年 27,961	昭和25年 2,913	昭和25年 63,231	235,549	3,125,166

観 光

広島市は今日に於ては世界無双なくその名を知られ、全世界の人々から異常な関心を以て注目せられて居る都市であり、当市に赴く世界の人々は移しに数に上つている。古来山部水郷、温和不気候風土の地として観光面に優秀な素質を有していた広島市は戦災で殆んど凡ゆるものを失つたけれども新たに世界著名観光地の序列の中に加つて、その保有する素晴らしい観光資源の力を大いに発揮せしめると共に海外一流観光都市の尖の部面が持つエッセンスを巧みに取り入れて一大観光現地態たらしめようとしている。

勿論広島は360年の歴史の上に立つて落ち着きある風格を有する都市であり、広島市の新しさはこの性格の上に立つものである。そしてこの新しい広島平和記念都市が今後保有するであろう観光資源は次のようなものである。

1. 都市自体が有する平和の雰囲気、(精神的面の資源で今後の完成に期待される。)



旧産業奨励館を築む



市内向宇品海岸の風景

2. 模写的に建設された都市形等、(人工的面的資源で骨々建設されつつある。)
3. 市内並びに周辺の天然の美、(自然的面的資源で今後一層磨きをかけられてゆくものである。)

山容、河川、湖沼の美しさ

4. その他一般的観光資源

原爆の遺跡、歌謡、文化、歌謡施設、市に近接する著名観光地、
現存する観光対象物として次のものが挙げられる。

原 爆 資 料 館

市内基町中央公民館内にあり、原子爆弾による本市災情に関する種々の資料を一堂に蒐集して一般の閲覧に供している。世界各地からの参観者は本館を見て8月6日を想起し、人類の恒久平和を祈念する。

東 照 宮

市内二雲の里にあり、天保年間藩主浅野光行の存続にかり徳川家康の體を祀っている。規模5,300平方米社殿は南面し石階7段である。往時は社殿社門を極め祭礼開演の盛大であつた。

不 動 院

市内牛田町太田川河畔にあつて天正2年信行基の開基と傳えられ、當時は行基自ら般若像を彫刻し七堂伽藍を創建して新日蓮蓮王寺と称し方7町、12の末寺を有していたと云ふ。慶應2年足利尊氏が修復したが役大永年間兵火にかかつて荒廃した。安國寺慈照寺太田に隣りて再建し不動院と称し、豊太閤朝鮮征伐の途次当院に宿陣した。

金堂は天文年間の建立で室町時代障子建物の傳作の一つとして銅使、銅、銅製如來(木彫)と共に国宝である。

三 滴 観 音 道 場

市内三滴町の山林中にあり1,000年の昔、弘法大師唐国より落伽の阿當地に巡錫、聖観音菩薩の體字を天然石に刻し藏密に安置した。爾來其の體験の著しいことと四手山水の因致幽深修禪の深きにより一般信徒の杖引く有様えず、現在は水害、原爆の被害により道場の荒廃甚だしくこれが修築工事中である。

千田廟と千田男爵銅像

往年日本の大主君として名声のあつた宇品港は明治17年、時の皇令千田貞親によつて起工せられ工費30万余円ラケ年の歳月を経て完成した、その後4年、日清戦役終結と共に宇品港は軍需基地として西瀝の構図に繪入されて來たのである。市民は千田県令の偉大なる業績を喜び大正4年宇品町御幸通り北端に寫く広島湾の海軍を冠ひ銅像を建立し、後に千田廟を祀り毎年4月に盛大な千田祭を執行している。

第六編 上水道・下水道・電気・瓦斯

上 水 道

本市水道は明治29年5月軍用水道として布設され、これに市の水道を接続したもので、同31年8月これが完成と同時に民衆を併せて島市において給水することとなり、翌32年1月から市内一般に給水が開始された。

爾來拡張する市勢に隨じて数次の拡張及び改良工事を実施し、昭和10年3月竣工した第3期拡張工事と、同17年3月完成した水源地區急流施設工事によって人口40万人、1日最大給水量10万立方メートルの能力を有つこととなつた。

更に昭和16年9月第4期拡張工事に着手、昭和23年3月完成の予定で総工費984万円を以て人口74万人に対する大施設を整備しつつあつたが、昭和20年8月の震災で相當の被害を受け本工事の中断を余儀なくせられたのみならず総貯水、配水施設にも甚大な被害を蒙つた。よつて本市は直ちにこれら諸施設の復旧と都市計画区調整事業に伴う市内配水管の移設工事等を併せて行ふと共に本市復興計画の構想に基いて施設にわたり改良工事を実施中である。

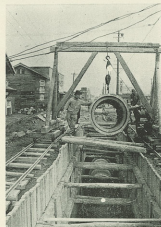
尚昭和26年度に於ては広島平和都市建設の構想に併行し、前述の第4期拡張計画を一部変更の上施工、淨水場施設の拡張、沈澱池及び淨水場ポンプ場設備の新設を行い本市計画人口40万人に対する1人1日最大給水量300立、1日最大給水量12万立方メートルを期待している。

水道設備拡張推移

区 分	起工年月	竣工年月	計画給水量(1人1日)			計画配給人口
			平 均	最 大		
創 設	明治29.5	明治31.8	リットル 70.79	リットル 106.19		人 120,000
第1期拡張	明治40.3	明治41.3	70.79	106.19		160,000
第2期拡張	大正10.5	大正13.6	99.11	148.66		250,000
養老水急流施設工事	明治13.6	明治14.2	—	—		—
塩素消毒設備	明治14.1	明治14.8	—	—		—
内燃機駆動付	明治15.4	昭和2.3	—	—		—
油送設備	明治15.8	明治2.3	—	—		—
第3期拡張	昭和5.8	明治10.3	127.4	191.14		400,000
比治山 ポンプ所設置	明治14.5	明治15.2	—	—		—
水源地緊急施設	明治14.12	明治17.3	—	—		400,000



神田橋水管橋(900口径)



下水管の埋設工事状況

配水状況 (単位100万石)

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
昭和15年	11.2	10.6	11.8	12.8	13.9	13.5	15.4	14.8	14.1	14.0	13.4	13.4
16年	12.6	11.9	13.0	13.2	15.1	14.9	16.3	16.3	14.6	13.7	13.7	12.6
17年	11.6	10.5	12.4	12.6	13.5	13.1	16.0	15.6	14.0	13.4	12.2	12.2
18年	10.8	9.5	10.8	11.0	12.6	12.7	14.7	15.1	13.4	12.9	12.0	12.1
19年	11.4	10.7	11.4	11.7	13.5	13.7	14.7	14.2	13.0	13.0	12.2	12.2
20年	11.4	10.1	11.7	12.2	12.9	13.0	14.0	13.9	10.2	11.0	11.1	11.8
21年	10.9	10.3	11.6	12.1	12.6	14.1	13.8	13.9	12.3	12.6	11.0	9.8
22年	11.2	9.8	12.5	12.5	13.2	12.4	13.0	13.0	13.2	13.6	12.3	12.8
23年	12.8	11.2	12.0	11.8	12.4	13.1	13.0	14.0	13.2	13.2	12.6	13.4
24年	12.5	9.5	12.4	14.6	14.4	12.3	13.4	15.4	14.8	14.8	13.5	14.3
25年	15.9	12.7	16.5	15.7	16.4	16.0	17.2	18.1	17.2	17.4	16.0	16.6

給水戸数及び水移送

區 分		計 量 檢						完 額 檢				合 計		
		家事用	官公庁・学校・娯楽用	工場・倉庫用	海軍・船舶用	事業・その他	計	専任用	兼合用	共用	計			
昭和十二年二月現在	給水檢数	138	254	1,718	232	58	2	2,386	32,937	—	1,411	34,348	36,744	
昭和十二年二月現在	給水戸数	138	254	1,718	202	58	6	21	2,400	32,937	7,573	7,446	47,936	50,356
昭和十二年現在	給水檢数	896	1,559	5,857	561	65	—	40	16,979	49,585	—	1,541	51,126	68,105
昭和十二年現在	給水戸数	384	266	2,638	189	65	—	3	3,543	34,267	4,488	7,218	48,951	52,494

備考、共用給水戸数 { 昭和24年12月 公営 418戸
昭和25年1月 公営 604戸
私営 992戸
私営 737戸

下水道

本市は太田川のデルタ地帯に発達した都市であるので土地が一般に低湿で、その大半(全面積の約9割)が灌漑地より低地にあるため、現在市内13ヶ所の排水所でポンプ排水による汚水、雨水排除を行っているが、根本的な改良下水道の完成は本市として特に急務を要する重要課題である。

平和記念都市として建設以来防災復興計画による諸種の事業を施工中であるが就中近代的下水道の建設は他のあらゆる都市建設事業の先駆として可及的速やかに実施を要するものであり、以下総合計画に依りて急々工事を進めて居る。

ポンプ場

抽水所 (昭和25年1月〜12月)

区分	抽水所名	ポンプ台数	ポンプ種類	附帯電動機馬力数	抽水状況				抽水区域名
					能力	面積	回数	時間	
					$\text{H}^4 \text{ m}^3/\text{S}$	H^4	回	時間	
	宇品抽水所	4	800形横型軸流	150	5.80	207	624	993	宇品町一區
	庚午	3	750	103	3.60	509	355	678	庚午、草津、古田
	大河	3	650	80	3.12	403	448	1,624	皆賀、早、後、渡、大河
	東雲	2	600	40	0.82	234	593	4,302	東雲、政原
	鷗見	1	600	60	0.71	24	46	92	鷗見、平塚
	復興	1	550	60	0.71	16	40	80	復興、柳、新市
	管轄	1	550	60	0.57	58	46	92	向島
	廣瀬	1	350	60	0.57	19	40	80	廣瀬
	青崎	3	350	30	0.66	131	328	632	向洋
	觀音	3	750	100	3.60	349	105	276	觀音、大瀧、中廣
	御幸橋	2	800	150	3.00	388	472	608	基、柳、八丁堀、平野、後、國奉寺
	千田	1	800	150	1.50	100	190	19	千田、大手
	大瀧	3	800	100	1.36	504	573	1,602	大瀧、矢賀、蟹屋、松原
計		23			25.02	2,912	3,671	11,140	

灌漑所 (昭和25年1月〜12月)

区分	灌漑所名	ポンプ台数	ポンプ種類	附帯電動機馬力数	灌漑状況				灌漑農地名
					能力	面積	回数	時間	
					$\text{H}^4 \text{ m}^3/\text{S}$	H^4	回	時間	
	空新道灌漑所	1	400形横型軸流	53	0.34	85	78	280	觀音農地
	小瀬町	1	300	35	0.17	86	82	292	〃
	河原町	1	400	80	0.50	79	66	137	紅波
	古島	1	300	30	0.19	60	35	107	古島
	瀬多間	2	350	30	0.44	167	12	60	東雲
計		6			223	1,64	478	273	876

下水管渠、溝渠

管渠	管渠						溝渠					
	内			外			内			外		
	総延長	下水管	側溝	暗渠	排水渠	排水渠	総延長	幅員 5米	幅員 2米	幅員 1.8米	幅員 1.5米	幅員 1.2米
米	米	米	米	米	米	米	米	米	米	米	米	米
529,720	343,709	260,928	5,439	8,314	11,530	46,300	2,000	5,000	12,000	13,300	9,000	5,000

欄門

上下開閉式（計52ヶ所）

大開町 3、仁保、青崎 1、東宮 5、短町 2、宇品 4、吉島 6、南千田 2、東千田 2、江波 3、観音 2、庚午 5、牛田 2、矢賀 2、新庄 2、三輪 1、打越 2、中広 2、三條 3、舟入 1、琴町 1、福島 1

自在開閉式（9ヶ所）

仁保 1、向洋 1、樹越 1、宇品 2、吉島 1、江波 1、牛田 1、南千田 1

汚濁管内扉設置15ヶ所、排水路延長延長48,007米を実施した。

電 氣

原簿で掲載した本市の電気設備はその後5ヶ年にわたる再建努力の結果著しく市民の要求に一回対応し得る段階に達したが更に安全で且良質の電気を供給することを目途とし、併せて都市美観の見地から供電を考慮研究を続けて開設設備の拡張、強化及び補修を進めている。

電 氣 工 作 物

本市の復興事業の進捗に伴い電気の需用も最近数年間急速に増加し設備の大拡充を必要とし、25年度に於て中間配電広島支店に低電圧正相保持と無停電供給を期して配電及び配電設備の増設を行い、敷設以上に整備された配電体制を目標に鋭意努力している。

向電気復興状況は次の通りである。

広島市内電氣関係復興状況一覽表

年次	戦災前	戦災後	昭和21年 8月現在	昭和22年 8月現在	昭和23年 8月現在	昭和24年 8月現在	昭和25年 8月現在
電灯需用家数	75,101	20,101	24,484	39,369	45,523	55,328	68,141
電力需用家数	4,530	2,100	2,756	3,575	4,019	4,829	6,003
支持物数（本）	7,252	2,898	3,292	3,887	4,234	4,683	4,975
幹路延長（幹）	213	104	128	168	203	251	279
電灯々数	284,740	100,896	115,460	180,035	207,633	244,413	304,923
電力容量	51,600	23,780	28,519	31,002	34,408	38,505	44,635
變壓器数	2,882	594	2,132	2,966	3,235	3,959	4,708

昭和25年度電力一覽表

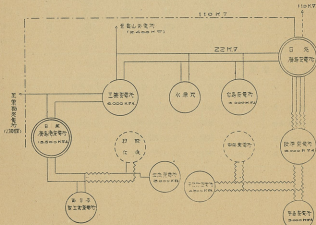
區分	電 燈		電 力			
	従 量 燈	大口電燈	小口電力	大口電力	給 養 用	
月別	K.W.H	K.W.H	K.W.H	K.W.H	K.W.H	
4 月	1,138,748	730,769	324,672	4,064,911	615,206	
5 月	1,018,016	230,439	272,883	4,133,232	511,079	
6 月	976,203	218,708	642,562	4,288,040	485,797	
7 月	1,018,330	242,325	735,306	4,319,489	612,333	
8 月	984,959	222,840	773,330	4,509,633	427,587	
9 月	981,544	194,610	792,276	4,493,835	435,620	
10 月	1,183,020	248,956	766,454	4,750,576	485,022	
11 月	1,335,692	277,208	720,184	4,892,669	501,504	
12 月	1,487,805	369,669	894,672	5,054,260	803,913	
計	10,122,371	2,235,594	6,524,339	40,506,676	4,930,061	

變 電 所 設 備

戦後本市の復興と都市計画の具体化に伴い電力需用の増加と共に其の分布状態も随分とは非難に変化した。電力復興計画樹立の際変電所の移設、新増設が計画され、既に向島変電所の新設昭和25年12月5日より開業を開始した。

向江波変電所の移設並びに中央変電所の建設計画も進められ無停電送電の確立を期している。

現在広島市の送電系統図を示す次の通りであつて今後の電力需用増加を勘案し之に随する電圧増強が企画され逐次充実にされる見込みである。



瓦 斯

原爆により市内殆んど全域のガス供給施設とガス生産設備が壊滅したのであるが、広島瓦斯株式会社が生産設備は現在殆んど復活し、供給管の拡張適化に努め、罹災家に対しては専ら24時間供給を実施している。年々罹災戸数も増加し更に建設されてゆく新家屋の殆んどものは暖房が互換化されつつある現状である。

かくて本年度に於ては既に設けられている東部方面の幹線の整備と拡張を図ると共に西部方面にも幹線を延伸して市民文化生活的向上に大きく貢献した。

五、新設國內國籍

区 分	発生箇所	ガス管	留設機	脱酸機	冷却器	揚湯機	押出機	敷設パイプ	屋 内 管
	台	基	台	基	台	台	台	米	米
原簿開設 開設	8	2	3	3	4	1	1	264,300	112,302
昭和24年末現在敷設箇所	2	1	3	2	4	1	1	217,531	37,228
昭和24年末現在敷設箇所	2	1	3	2	4	1	1	233,702	51,504
原簿開設との割合	25%	50%	100%	66.6%	100%	100%	100%	88%	46%

互期消費者內認

區 分	一 般	商 業	工 業	醫 藥	公 用	計
昭和23年10月末現在	1,827	16	12	34	13	2,000
○ 24年12月末現在	3,945	434	16	118	27	4,540
○ 25年12月末現在	4,445	658	20	135	32	5,290

瓦斯生產量

區 分	石炭消費量	元 標 生 産 量	ロータス生産量	ターボ生産量
	トン	立米	トン	トン
設備能力	2,610	1,232,800	1,723	131
現在稼働能力	900	400,800	655	48
昭和24年12月	500	237,450	342	25
昭和25年12月	693	391,300	464	35

第七編 市 民 生 活

消費生活

物	價
...	...

昭和5年中の市内自由市園はその前半に於ては前年に引續き全面的に下落傾向を示したが、朝鮮動乱の影響を受けて後半一齊に上昇に逆轉した。然しながら食料品関係が漸々安定している点は注目される。

廣島市內自由物價指數表 (商工會議所調)

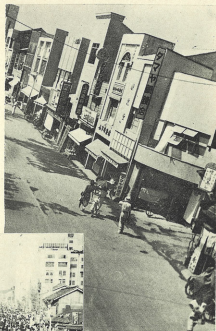
年 月 别		分 区	综 合	食 料 品	衣 料 品	身 穿 品	雜 品	建築材料	燃 料 品
昭和21年	平均		49.4	46.3	42.3	36.8	54.5	52.0	64.2
昭和22年	平均		100	100	100	100	100	100	100
昭和23年	平均		191.9	192.1	185.5	161.7	190.8	194.5	265.8
昭和24年	平均		203.8	172.3	226.7	178.7	205.1	202.9	242.0
昭 和	1 月		176.3	163.6	182.9	150.9	176.1	172.8	213.3
	2 月		165.4	162.6	153.9	123.5	163.2	173.3	215.9
	3 月		168.4	146.7	138.7	120.4	157.6	173.3	213.9
	4 月		148.9	138.6	128.9	112.6	132.9	172.6	208.3
二 十	5 月		144.5	128.5	123.1	113.9	132.9	167.1	211.5
	6 月		137.7	114.2	127.2	112.2	117.1	152.9	202.5
	7 月		138.8	121.5	139.8	112.2	114.4	146.8	198.9
	8 月		150.7	132.3	167.1	117.6	130.1	153.2	204.4
五 十	9 月		158.1	141.7	167.9	128.0	133.8	172.5	204.4
	10 月		163.3	140.0	187.3	131.6	141.8	172.6	224.7
	11 月		168.6	133.5	189.9	134.5	140.7	183.9	234.9
	12 月		174.1	129.5	193.7	138.6	140.7	192.6	249.6
年	平均		157.4	137.7	158.4	124.6	140.1	169.4	215.1

註、本表は昭和22年年間平均を100とする。

昭和25年自由物價表 (商工會議所調)

品名	單位	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
白米	1斗	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
小豆	1斗	80	80	70	70	70	70	70	70	60	60	60	60
大豆	1斗	150	140	120	250	200	200	230	200	200	200	200	200
甘藷	1貫	50	50	50	50	50	75	75	75	75	60	50	45
馬鈴薯	1斗	100	80	80	80	100	40	50	50	50	50	60	60
玉葱	1斗	200	220	240	300	60	30	35	40	60	50	40	70
大根	1斗	18	6	5	4	3	3	100	120	120	20	20	25
リンゴ	100個	35	25	25	25	25	25	30	30	25	20	20	23
牛肉	1斗	160	140	130	120	110	100	100	100	100	105	110	130
鶏卵	1斗	119	77	77	70	65	70	77	91	84	114	103	103
生いむし	1斗	20	25	20	10	7	8	10	12	10	15	15	15
醬油	1斗	50	60	60	60	50	50	50	50	50	55	55	60
味噌	1斗	11	11	11	11	13	13	13	13	13	12	12	15
砂糖	1斗	250	250	200	200	250	250	250	200	200	180	190	210
食用油	1斗	1,100	1,100	1,100	900	600	600	600	500	450	450	450	430
晒木綿	1反	700	550	450	400	400	450	600	700	450	450	550	550
銀貨(圓)	1枚	2,200	1,800	1,800	1,800	1,800	1,900	2,200	1,900	1,900	1,800	1,800	1,800
銅錢(圓)	1枚	30	25	25	16	16	16	16	16	16	22	22	27
下駄	1足	280	290	230	300	200	200	200	200	250	250	280	300
靴(男大人)	1双	80	60	60	60	60	60	60	80	80	80	80	80
洋傘	1本	1,400	1,000	1,000	900	900	900	900	900	900	900	900	1,000
半紙	1帖	20	20	20	20	17	20	20	20	20	20	20	20
化粧石鹼	1ヶ	136	110	99	50	40	22	22	22	22	22	20	20
絹タオル	1枚	70	65	55	40	45	45	50	75	75	75	75	75
茶(2斗)	1ヶ	210	210	210	200	190	190	170	200	240	260	260	260
銅(20cm)	1ヶ	170	170	170	170	170	170	150	160	160	185	185	185
杉角材	1本	320	320	320	320	320	280	280	280	300	310	330	430
4寸×210板	1坪	180	180	180	180	180	150	150	150	165	165	190	230
(3分)	1坪	330	330	330	330	300	300	300	300	300	300	300	300
炭(表)	1斗	220	210	200	180	160	160	160	190	190	250	260	270
木炭	1斗	20	20	20	20	20	15	15	15	15	18	22	26
薪(薪木)	1斗	20	20	20	20	20	15	15	15	15	18	22	26

新築の商店街



市民の買物に賑う商店街



消費者価格調査 (1世帯毎月1ヶ月間支出金額)

区分	總計		内										預け出 現金 貯蓄 及 投資		一人 月 平均	世帯 平均
	金額	昭和22 年と して 対比	食料費				雑費				被服 費	光熱 費	住居 費	雑 費	預金 貯蓄 及 投資	世帯 平均
			主食	非主食	計	統計の 対比	計	統計の 対比	計	統計の 対比						
昭和24年 平均	2,243	—	—	—	1,583	70.5	—	—	184	58	155	266	—	—	—	180
昭和25年 平均	4,250	100	—	—	2,933	69.0	—	—	372	155	138	602	—	—	—	180
昭和23年 平均	7,277	171.1	—	—	4,612	63.4	—	—	830	303	335	1,197	—	—	—	180
昭和24年 平均	10,073	236.9	2,581	3,633	6,214	61.7	964	387	474	2,032	673	4,42	150	—	—	180
1月	9,352	219.9	2,584	3,224	5,808	62.1	602	564	386	1,992	1,913	4,51	180	—	—	180
2月	8,157	191.9	2,203	2,937	5,200	51.5	458	589	226	1,684	631	4,41	180	—	—	180
3月	9,573	223.2	2,944	3,046	5,990	62.6	1,035	454	310	1,784	543	4,45	180	—	—	180
4月	9,836	231.3	2,429	3,443	5,872	59.7	1,199	363	426	1,976	723	4,39	180	—	—	180
5月	9,477	222.8	2,666	3,191	5,857	61.8	1,034	387	435	1,866	707	4,53	180	—	—	180
6月	9,170	215.7	2,477	3,161	5,638	61.5	1,028	240	449	1,815	625	4,59	180	—	—	180
7月	9,701	223.3	2,388	3,238	5,646	58.2	1,146	269	391	2,249	425	4,54	180	—	—	180
8月	9,637	223.2	2,601	3,652	6,253	64.5	846	234	451	1,853	526	4,37	180	—	—	180
9月	8,634	203.6	2,054	3,214	5,268	60.9	868	372	424	1,722	638	4,28	180	—	—	180
10月	9,537	221.3	2,020	3,634	5,654	59.3	1,076	405	306	2,096	1,876	4,14	96	—	—	96
11月	9,215	216.8	1,743	3,326	5,069	55.0	1,449	509	259	1,929	1,383	4,29	96	—	—	96
12月	12,276	288.8	2,964	4,376	7,340	59.8	1,623	752	535	2,020	1,865	4,18	96	—	—	96

註、1. 本調査は昭和21年7月より開始せられたものであるが、昭和25年10月より調査變更により被調査世帯は96世帯となった。

2. 昭和25年10月以降は下記の新分類による。

イ、これまで甘藷、馬鈴薯は主食の内に含まれていたが、非主食の「豆及び雑穀類」に含めた。

ロ、住居費は家賃、地代、住宅の修繕、水道料、家具什器と分類していたが、新に中分類「家賃除入費」を設けた。

ハ、雑費は保健衛生、交通・通信費、教育、交際費、修繕費、被服費と分類していたが中分類「その他の雑費」を新に設けた。これまで便宜上一括されていた「その他の雑費」とさらに別掲に分類されていた負債費を含むものである。

ニ、別掲には負債費及び貯蓄費であったが、中分類に「租税」「貯蓄及び投資」「借金返済」「住居金その他」とした。

市民と標準

市民の標準消費世帯は次第の通りであるが、季節的には8月と12月が増加しており、個別的にはゴールデンバウトと新生が過半数を占めこれに類、ハッピーを加えると総消費量の8割に達している状況である。

中央卸賣市場

生鮮食品が全面的に統制されていた間は中央卸売市場は單なる分荷運輸機關に過ぎないが、昭和24年以來逐次統制が解除せられ昭和25年4月には全面的に統制撤廃が決定し、茲に本市中央卸売市場も意々本邦の公正な評價機關として價格調整の機能を發揮し衛生面をも加えて市民日常生活に貢献しつつある。

本市の中央卸売市場は昭和24年秋竣工した中國地方第一を誇る堂々たる最新設備を有するものである。これに加えて昭和25年中には淡水魚売場、鮮魚売場、河岸荷揚場上屋、等が完成した。諸施設の中心をなす市場館は1階売場268坪、2階事務所484坪、地下駐車室55坪、計1,507坪の広さを有している。

機 構

事務機構

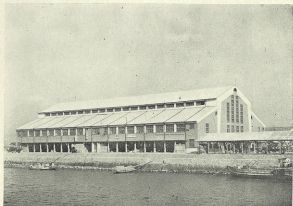
管理事務所（卸業者の業務監督と市場設備の管理）

市場長 { 管 理 課（庶務課、経理課）
業 務 課（農産品係、加工品係）

運営委員会（市場運営の重要事項を審議）

営 業 者

種 別	卸 賣 会 社 名	仲買人	種 別	卸 賣 会 社 名	仲買人
農 産	広島中央青果 株式会社	12	果 實	広島中央青果 株式会社	17
〃	広島露菜果実荷受株式会社		〃	広島露菜果実荷受株式会社	
〃	広島青果 株式会社		〃	北九州 青果 株式会社	
漬 物	広島中央漬物 株式会社	13	〃	株式会社 岡 井 商 店	17
加 工	広島海産物 株式会社		〃	新広島青果市場 株式会社	
水産物	株式会社 中村 高 商店		〃	広島青果 株式会社	
〃	広島水産物 株式会社	14	〃	妙見青果 有限 会社	17
〃	広島加工水産荷受協同組合		〃	広島合同青果 有限 会社	
生 鮮	広島縣牡蠣商菜協同組合		〃	株式会社 山 岡 商 店	
水産物	広島中央水産 株式会社	—	〃	広島青果共同荷受株式会社	—



中 央 卸 売 市 場

昭和25年中中央卸賣市場入荷数 (産地別)

品種類別 産地別	蔬菜類	果實類	水産加工 及乾物類	魚貝類	合計
廣島縣	—	—	—	—	—
廣島市	1,464,541	820,050	55,006	130,409	1,005,455
安芸郡	1,191,417	—	—	—	1,191,417
佐伯郡	305,955	—	—	—	305,955
安藝郡	171,841	—	—	—	171,841
甲奴郡	45,797	—	—	—	45,797
高田郡	45,519	—	—	—	45,519
比婆郡	22,193	—	—	—	22,193
山縣郡	13,153	—	—	—	13,153
豊田郡	916	—	—	—	916
双三郡	870	—	—	—	870
賀茂郡	333	—	—	—	333
廣島縣計	3,283,535	820,050	55,006	130,409	4,289,000
青森縣	—	745,744	—	—	745,744
愛媛縣	23,016	180,273	876	14,834	218,999
北海道	12,803	—	112,542	3,590	128,935
山口縣	38,275	22,559	29,772	33,252	123,858
鳥取縣	1,316	2,604	33,022	79,500	116,242
岡山縣	—	93,091	—	—	93,091
鹿児島縣	38,702	1,435	—	—	40,144
合 計	—	37,805	—	—	37,805
宮崎縣	21,254	—	10,203	4,840	36,303
長崎縣	—	7	28,164	6,718	34,889
石川縣	—	—	24,176	—	24,176
鳥取縣	1,235	17,114	—	5,622	23,971
千葉縣	—	—	16,265	5,860	22,125
香川縣	—	17,294	—	—	17,294
福井縣	—	—	14,471	—	14,471
三重縣	—	—	12,614	—	12,614
長野縣	—	10,300	—	—	10,300
高知縣	2,073	5,766	—	—	7,839
その他	54,246	10,464	63,282	783	128,825
合 計	3,476,512	1,965,566	400,393	285,194	6,127,665

備考、魚貝類のみは4月から12月迄の計である。

中央卸貨市場入荷状況 (8月)

月別	品種類	蔬菜類	果實類	水産加工物 及乾物類	魚貝類	合 計
昭和	1 月	314,071	157,398	26,287	—	497,756
	2 月	335,035	126,692	14,409	—	476,066
	3 月	279,557	120,764	28,727	—	429,048
三	4 月	272,165	124,835	43,843	19,063	459,912
	5 月	268,405	120,968	37,609	33,388	460,367
	6 月	284,489	83,673	32,563	50,390	451,075
十	7 月	343,272	135,858	40,116	53,129	572,375
	8 月	320,810	245,805	34,871	28,093	619,577
	9 月	272,574	117,898	26,937	20,274	437,706
五	10 月	224,036	193,532	31,814	26,700	476,142
	11 月	246,788	250,686	40,239	22,322	560,055
	12 月	315,232	287,511	52,939	31,835	687,535
年	合 計	3,476,512	1,965,566	400,393	285,194	6,127,665

業 職

昭和25年10月1日現在で実施された国勢調査の結果によると、職業関係事項調査期間内（9月24日～9月30日）の1週間に入力ある仕事を探した者は約4,000人である。

又この国勢調査の結果判明した当市の非労働力人口（昭和15年末迄に出生した者と通学、家事、就労、労働不能、その他により社会的非労働力と見られるべき人）は約105,000人である。

従つて国勢調査による市人口 285,712人から昭和16年以後に生れた子供達の総人口66,900人を差し引き、更に上記の社会的勞働力と見られる105,000人を差し引くと約113,812人が社会的に働き得る人口であり、その中約 109,812人が実際に雇に就いて働いている人達と言い得るのである。

計畫養人口.....約109,912人

生業費（収入ある仕事を認めている者）人口……………約 4,000人

社會的非勞動力人口.....約105,000人

昭和16年以降に出生した子供達の人口……………約 66,900人

計…広島市の総人口……………285,712人

(昭和25年10月1日現在)

職掌紹介状況 (常用の部)

年 月	區 分 性 別	求			人			紹			介			就			就 業 率
		計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	
昭和24年		25,119	15,337	9,782	17,631	11,354	6,327	7,932	5,062	2,870	69	44.8					
昭和	1月	1,070	550	520	753	384	369	418	219	199	73	55.0					
	2月	952	560	392	832	435	427	566	251	315	93	64.0					
	3月	1,461	911	550	1,305	677	628	860	423	437	89	66.0					
	4月	1,249	842	407	1,287	841	446	879	578	301	103	58.0					
	5月	939	533	406	1,129	582	547	759	435	324	120	67.0					
二 十 五 年	6月	738	387	351	870	492	378	629	364	265	112	72.0					
	7月	698	366	332	865	437	428	511	268	243	124	59.0					
	8月	1,362	752	610	1,209	713	496	695	384	311	89	57.0					
	9月	1,541	908	633	1,303	719	494	812	456	356	83	6.0					
	10月	1,591	929	662	1,777	1,094	683	838	496	372	112	43.0					
年	11月	1,165	694	471	1,441	842	599	697	404	295	124	48.0					
	12月	894	483	411	1,046	633	413	527	298	231	116	50.0					
	計	13,680	7,915	5,765	13,871	7,951	5,910	8,221	4,574	3,647	101	59.0					

(臨時、日雇の部)

昭和24年	257,695	211,318	56,377	259,921	205,740	54,181	258,005	204,027	53,978	97,932	100
1月	41,264	27,788	13,476	41,874	28,187	13,687	40,207	27,045	13,164	101	117.7
2月	59,968	39,448	20,520	60,200	39,698	20,520	59,804	39,242	20,462	100	99.9
3月	80,139	60,142	24,977	83,291	60,268	24,993	84,792	59,847	24,945	100	99.9
4月	85,098	51,578	28,488	80,043	51,571	28,472	79,492	51,283	28,209	100	99.0
5月	77,060	41,157	35,907	77,164	41,208	35,956	77,010	41,126	35,884	100	99.9
6月	70,550	39,083	31,463	70,555	39,087	31,468	70,171	38,938	31,233	100	99.9
7月	73,184	41,236	31,948	73,246	41,278	31,968	73,199	41,240	31,959	100	100.0
8月	84,037	46,970	37,067	83,957	46,867	37,090	83,685	46,690	36,995	100	99.9
9月	81,652	44,354	37,296	81,555	44,261	37,294	81,065	43,938	37,150	100	99.9
10月	84,120	50,879	33,251	84,154	50,663	33,491	82,883	49,750	33,133	100	98.5
11月	82,929	48,537	34,392	83,192	48,737	34,455	82,838	48,492	34,246	100	100.0
12月	96,725	54,217	42,508	97,003	54,480	42,523	96,128	53,992	42,156	100	99.9
計	916,956	545,389	371,567	918,243	546,326	371,917	917,276	544,680	369,196	100	100.0

註、本表は廣島公共職業安定所受付取扱人員数を示す。

大分類 小分類 年月分	農 業	林 業	水 産 業	漁 業	建設 業	製造 業	電気 ・ガス ・水道 ・熱気	商 業	金融 ・保険 ・郵便	交通 ・運輸	娯 楽・文 化・体育	自 然・環境	社会 福祉	その他 の業	合 計
昭和34年	12	17	2	1	108	90	7,350	2,014	392	488	1,204	1,210	1,691	1,691	17,681
1月	—	—	—	—	54	22	354	152	13	17	81	24	—	—	753
2月	—	—	—	—	19	22	170	68	14	12	24	23	—	—	418
3月	—	—	—	—	13	17	335	206	18	113	94	55	—	—	882
4月	—	—	—	—	2	27	688	213	18	67	39	39	—	—	565
5月	—	—	—	—	13	13	430	127	11	4	73	18	—	—	1,305
6月	—	—	—	—	27	10	514	144	4	92	107	42	—	—	880
7月	—	—	—	—	40	29	381	238	3	33	167	101	—	—	1,289
8月	—	—	—	—	5	8	493	212	21	18	90	104	—	—	873
9月	—	—	—	—	29	18	567	144	6	8	187	43	—	—	1,225
10月	—	—	—	—	39	603	500	208	24	8	100	53	—	—	870
11月	—	—	—	—	31	389	300	147	14	10	79	34	—	—	829
12月	—	—	—	—	8	245	2	103	21	10	69	44	—	—	511
計	15	10	2	1	93	408	6,615	2,957	156	611	927	651	74	42	13,971
昭和35年	—	—	—	—	27	217	4,035	1,485	115	342	892	529	—	—	8,971

注、本表は群馬県公共職業安定所受付就職人員数を示す。

産業分類別、紹介、就職状況 (単位: 名)

大分類 小分類 年月分	農 業	林 業	水 産 業	漁 業	建設 業	製造 業	電気 ・ガス ・水道 ・熱気	商 業	金融 ・保険 ・郵便	交通 ・運輸	娯 楽・文 化・体育	自 然・環境	社会 福祉	その他 の業	合 計
昭和34年	12	17	155	155	1,000	159,101	7,501	4,250	388	7	34,633	1,452	2,023	46,816	239,921
1月	—	—	—	—	36,086	87	208	34	34	4,479	44	42	20	70	41,874
2月	—	—	—	—	34,466	1,899	209	34	34	3,116	44	24	25	70	40,269
3月	—	—	—	—	53,869	3,883	982	983	51	3,116	68	37	112	42	60,268
4月	—	—	—	—	70,835	3,883	1,418	88	—	6,196	1,578	970	288	18	85,291
5月	—	—	—	—	69,568	3,878	229	241	—	6,196	1,578	970	288	18	85,291
6月	—	—	—	—	69,011	3,878	229	241	—	3,568	1,626	907	22	13	84,782
7月	—	—	—	—	70,049	806	421	26	—	3,017	1,896	934	105	15	79,492
8月	—	—	—	—	69,528	802	421	26	—	3,017	1,825	894	102	—	77,164
9月	—	—	—	—	63,274	1,286	498	12	—	3,008	1,530	817	89	—	70,555
10月	—	—	—	—	65,507	1,227	130	45	—	3,110	2,212	939	26	—	70,717
11月	—	—	—	—	65,460	1,224	130	35	—	3,110	2,208	939	26	—	73,246
12月	—	—	—	—	74,119	1,523	713	425	—	3,602	2,213	936	49	—	73,198
計	15	10	270	270	93	408	6,615	2,957	156	611	927	651	74	42	13,971
昭和35年	—	—	—	—	27	217	4,035	1,485	115	342	892	529	—	—	8,971

注、本表は群馬県公共職業安定所受付就職人員数を示す。

文化・娯楽

広島平和記念館は市民の高い文化関心と高向、快適な娯楽とを切に希求してやまない。同時に又市周辺部の広い地域の人々にとつても、広島市の文化と娯楽は大きな影響を持ち心のオアシスとなっている。戦災に壊滅し、戦後の混乱に荒んだ数年を経てやがて豊かな文化の夢は市内に寝なく甦生しつつある。

広島市内ラジオ聴取者状況 (広島中央放送局加入課)

年度別	聴取者数	聴取者増加数		聴取者減少数		年間増加数
		加入	轉入	廃止	轉出	
昭和21年度末	20,338	9,317	703	4,742	1,280	4,003
22年度末	26,144	7,852	1,048	2,436	668	5,806
23年度末	34,443	10,181	1,716	2,861	737	8,289
24年度末	40,373	8,167	2,035	3,058	1,214	5,930
25年度末	43,672	5,743	1,743	2,609	1,289	3,299

市内各劇場、所在地及び入場者数一覧表

(昭和25年)

名	番	所 在 地	代 表 者	1月～12月 入場者数	備 考
旭映畫劇場		横川町2丁目	津村 是義	11,081	
港 劇 場		宇品町 330	藤原 仁 平	88,734	
前 島 劇 場		寛神町 120	島 良 一	35,179	
新津花月劇場		草津本町	三 島 吉太郎	6,546	
栄 栄 劇 場		已斐町259	伏見 幸太郎	170,190	
広島興映畫劇場		段原大畑町11	櫻庭 勝 夫	44,021	新 興 興 興 興
廣 島 大 映 画		寛神町 299	榮 豊二郎	286,624	新 興 興 興 興
市 立 座 落		皆賀町3丁目 957	森 山 善太郎	150,889	
シネマ		板原町 637	繪垣 捨 夫	230,657	
双葉映畫劇場		東魚屋町	伊 東 大 夫	99,108	
太陽 館		釣場町 106	田 中 富 子	400,288	
明星名畫劇場		八丁堀	重 政 康 吉	322,922	
日本 劇場		寛神町 15	山 本 龍 三	109,847	
広島帝國劇場		鍛冶町	永 井 重 義	382,344	
銀座東宝映畫劇場		斜屋町 27	榮 豊二郎	356,539	
ラッキー映畫劇場		立 町 8	白 川 隆 夫	188,751	6月より閉館
有 楽 劇 場		小瀬町	清水 隆 三	59,810	8月より閉館
東 洋 座		鍛冶町 1	専務取締役 弘	8,332	全盛により休館中 とて12月末新館設 成開業

日刊新聞読者数 (昭和25年)

新聞名	日 別	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
中國新聞	日	45,347	44,637	44,451	44,272	44,202	44,548	44,635	44,623	44,659	45,932	44,923	44,847
朝日新聞	日	19,633	20,194	20,684	20,849	21,183	21,455	22,114	22,384	22,724	23,914	22,539	21,609
毎日新聞	日	19,020	18,391	18,623	17,970	18,029	18,004	18,294	18,634	18,827	19,648	19,515	18,882
英毎日新聞	日	668	622	570	513	507	508	522	519	519	529	562	546
山陽新聞	日	250	170	160	190	164	124	124	114	119	138	136	142
広島新聞	日	3,020	2,970	2,960	4,601	3,223	4,355	4,074	4,039	4,240	4,465	4,793	4,756
西京新聞	日	2,338	2,285	2,105	2,395	2,425	2,470	2,434	2,374	2,301	2,466	2,346	2,184
日本郵政新聞	日	1,070	1,033	1,072	1,085	1,089	1,119	1,122	1,106	1,103	1,114	1,058	1,029
日本メーヌ	日	121	147	112	110	103	110	113	116	117	112	120	—
夕刊中國	日	21,036	20,841	20,753	20,512	21,282	21,523	22,289	22,701	22,968	23,800	23,532	23,373
夕刊朝日	日	2,215	2,278	2,372	2,228	2,267	2,144	2,100	1,991	1,943	5,325	4,010	3,725
夕刊毎日	日	1,390	1,175	1,302	1,510	1,307	1,300	1,155	1,272	1,404	3,617	3,817	3,795
中央毎日	日	1,295	1,258	1,071	946	948	895	802	647	633	685	671	663
少年毎日	日	885	823	804	807	943	863	835	762	751	856	777	789
その他の新聞	日	570	572	437	2,070	2,043	427	402	428	443	305	462	1,046
計		118,850	117,225	117,679	120,077	119,695	119,744	121,024	121,710	122,748	132,001	121,170	127,015

備考、本表は毎月10日現在の読者数である。

住 宅

戦時中建物疎開等によりかなり減少していたが、原爆当時の市内建物数は、76,327戸（内住宅64,521戸）であった。これが一時的に原爆により全壊35,000戸、半壊3,290戸、全壊6,820戸、半壊3,790戸と云う激減の大損害を被り、僅かに6,400戸を残すのみとなつたのである。開戦5年間生存者の市内復興、他地からの轉入により人口急激に増加して来た本市の住宅対策は実に容易ならざるものがあった。

併し市民各個人の努力と果、市の対策徹底実施により、漸くにして略々安定の見通しを得る段階に達しつつあるが、何分にも未だ急激的な住宅が多く、健康的で明るい住宅が一般に普及される迄には尙相當の歳月を要するであろう。

市民個人の建設した住宅は昭和13年以降25年9月末迄約8,900戸（毎月平均120戸）であり、戦後から25年末迄に建設された市営住宅は3,577戸（含當選建築）、單営住宅は355戸である。

市営住宅金融公庫及び支所取扱件数は12月末現在で次の通り287戸であつて完成戸数は68戸である。

市 営 住 宅

年度別市営住宅建設状況

年度別	構造別	木	造	鐵筋コンクリートアパート	コンクリートブロック住宅	計
昭和21年度		528	—	—	—	528
22年度		700	—	10	—	710
23年度		633	24	—	—	657
24年度		1,109	43	—	—	1,152
25年度		241	72	12	—	325
計		3,211	144	22	—	3,377

昭和25年度中の建築現況

名 稱	戸数	1戸當り坪数	1戸當り使用料月額	戸建別	名 稱	戸数	1戸當り坪数	1戸當り使用料月額	戸建別
江波町住宅	38	9.5	800	平家1戸建38棟	白鳥町 ブロック住宅	8	15.0	1,000	立方体4戸建3棟
〃	114	10.5	900	〃114棟	高須 ブロック住宅	4	12.0	1,000	〃1棟
〃	19	12.5	1,000	〃19棟	高須鐵筋コンクリートアパート	72	12.0	1,200	〃3棟
似島町住宅	10	10.5	900	〃10棟	江波町 廣島の家	1	14.38	1,000	〃1棟
宇品町住宅	6	9.5	800	〃6棟	江波町明揚者住宅	40	7.5	250	平家2戸建20棟
〃	10	10.5	800	〃10棟					
〃	3	12.5	1,000	〃3棟	計	325			

市 営 住 宅

年度別市営住宅建設状況（廣島市内のみ）

年度別	構造別	木	造	鐵筋コンクリートアパート	コンクリートブロック住宅	計
昭和23年度		50	—	48	44	142
24年度		61	—	43	24	133
25年度		—	—	48	32	80
計		111	—	144	100	355

昭和25年度中の建築現況（廣島市内のみ）

名	種	戸数	1戸當り坪数	1戸當り使用料月額	戸建別
東瀬戸鐵筋コンクリートアパート		48	12.0	1,200	鐵筋コンクリート24戸建2棟
北泊山ブロック共同住宅		32	12.0	1,000	コンクリートブロック12戸建2棟 8戸建1棟
計		80			

住宅金融公庫廣島支所取扱状況

（市内のみ）

（昭和25.12.31現在）

區 分	申 込		貸 付 確 定		着 工		支 拂		完 成		貸 付 契 約	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	戸数	金額	件数	金額
取扱数	1,418	303,140	1,191	262,049	287	44,990	68	564	120,491			

備考、上記は住宅金融公庫廣島支所代理所である廣島銀行本店、廣島無事本店、東邦建物無事廣島支店、廣島信用組合、の合計であつて昭和25年7月1日から夫々業務を開始した。

第八編 都市建設

都市計画の沿革

広島市は天正19年広島城築造と共に誕生、中世300年続下町として繁栄し、明治以降は軍都として発展して来た。この町宝暦8年4月3日の大火後「翌朝野」と称し区画整理が行われたこともあったが、市街の大半は自然発生的な発展を遂げ、初めて本格的な都市計画がなされたのは、大正12年7月都市計画法の適用を受けた時であり、昭和4年4月調整7ヶ町村を含め都市計画区域が設定された。昭和22年には広島市の完成が計画されていた。

この計画は書々実施されつつあったが原爆被災により全く無有に帰し、ここに新計画が新しい観点から樹立されねばならなくなり、人口40万を目標に別記計画が作られ、これが完成の鍵には平和と希望のメッカとして広く世界の人々を招くに足るモデル都市となるものと期待する。

広島平和記念都市建設事業計画

世界平和の確立を広島市に象徴しようとする平和記念都市建設法が昭和24年8月6日公布され、漸次建設事業も其の成果を現す段階に達した。

昭和24年10月3日第1回平和文化都市建設協議会が開かれ戦災復興事業を基礎として、平和都市の方向を性格づける平和記念施設を中心に緊急事業のみを5ヶ年計画で完成すべく、次表の通り事業計画案が一層樹立された。

区 分	5ヶ年計画					計	後年度合計	
	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度		千圓	千圓
戦災復興 平和記念 施設	865,428	948,766	808,097	777,233	642,844	4,132,368	1,028,264	5,160,632
排水施設	129,870	242,170	174,670	83,400	83,300	713,410	—	713,410
幹線道路	1,500	115,110	118,905	109,705	115,110	479,830	—	479,830
幹線道路 上下水道	310,763	495,278	611,888	718,719	728,104	2,874,748	5,125,232	8,000,000
都市公共 施設	—	63,300	91,300	91,300	89,550	335,450	594,900	930,350
文教施設	368,700	317,000	423,900	241,300	118,250	1,469,150	239,840	1,708,990
住宅施設	107,380	107,380	107,380	107,380	107,380	539,900	930,300	1,470,200
観光施設	77,000	61,900	27,500	137,500	—	303,900	150,000	453,900
厚生施設	123,110	92,330	136,870	88,270	55,100	495,680	200,500	696,180
河 川	420,000	460,000	590,000	490,000	240,000	2,200,000	—	2,200,000
港 灣	124,800	360,490	375,800	374,800	360,800	1,596,690	4,215,300	5,811,990
計	2,542,051	3,263,724	3,556,310	3,219,603	2,560,448	15,132,136	12,484,356	27,616,492

この計画案を見ると総額276億余円、5ヶ年計画に於ても151億余円に達する大規模なものであった。

然るにこれ等事業の遂行に當つては、その大部分を国庫補助に依存しなければならないこととなり、国家財政の趨勢はこの事業計画に大修正を加へることを余儀なくされた爲、安本、大蔵省了解のもとに変更した新計画が昭和25年7月に着つて新たに決定を見たのである。よつて現在本市はこの5ヶ年計画に基づいて事業に着手実行しているのである。

広島平和記念都市建設5ヶ年計画表

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	計
戦災復興	千圓 185,490	千圓 419,680	千圓 361,020	千圓 175,620	千圓 115,440	千圓 1,253,450
平和記念施設	23,987	123,520	98,500	—	—	256,000
排水施設	5,070	28,000	30,000	30,000	16,930	110,000
幹線道路	53,460	487,980	286,550	202,880	119,390	1,257,260
都市公共施設	—	12,620	27,330	30,000	17,340	77,290
計	270,000	1,070,000	803,400	535,500	269,760	2,948,000

戦災復興事業

被災中心市街地3,212,000坪を対象として、従来の戦災復興事業の條に沿ひ、区画整理、道路、軌道軌道敷引に瓦斯管移設、公共空地整備、上下水道等の事業を遂行するもので、昭和25年度より5ヶ年計画を以て之等事業を一貫完成しようとするものである。

尚再検討の結果決定された戦災復興5ヶ年計画は次表の通りである。

戦災復興事業5ヶ年計画内詳

事業名	25年度		26年度		27年度	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額
区 画 整 理	296,000坪	千圓 84,990	638,000坪	千圓 87,000	700,000坪	千圓 85,000
道路敷引	17,739坪	36,000	72,000坪	122,200	71,000坪	114,000
幹線道路	600米	7,980	3,600米	3,600	3,600米	3,600
公共空地	10,000坪	3,000	14,000坪	3,000	14,000坪	3,000
上下水道	9,000坪	4,500	21,000坪	60,000	70,000坪	20,000
水 道	2,800米	13,980	32,000米	35,000	31,000米	34,000
水 道	2,300米	35,040	31,300米	105,000	31,300米	105,000
計	—	185,490	—	415,880	—	351,020

事業名	28年度		29年度		計	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額
区 画 整 理	678,000坪	千圓 80,000	593,000坪	千圓 54,440	2,925,000坪	千圓 391,430
道路敷引	18,600坪	30,000	18,500坪	30,000	197,739坪	332,260
幹線道路	—	—	—	—	1,500米	11,580
公共空地	2,800米	6,600	1,072米	2,300	41,872米	9,250
上下水道	71,000坪	5,000	60,000坪	3,700	411,000坪	93,250
水 道	22,000米	20,000	1,630米	7,020	89,430米	110,000
水 道	14,000米	39,960	1,670米	23,000	80,570米	303,000
計	—	175,620	—	115,440	—	1,253,450

上記の5ヶ年計画に基づく事業進捗の結果、区画整理事業中、用地補償の大部分、その他各事業について夫々一部の残事業を生ずるものであるが、之等については後年度事業として追加進捗の計画である。

震災復興事業の進捗状況其他について略述すると次の通りである。

1. 区画整理事業

計画面積3,212,000坪は東部工区、西部工区の2工区に分割せられ、東部工区（元安川以東、但し中島町の一部を含む）は1,756,000坪を東部復興事務所（市管）西部工区（元安川以西、但し中島町の一部を除く）は1,456,000坪を西部復興事務所（県管）が夫々担当し、これらの事務所が事業執行機関として本事業を実施している。

昭和23年度末を以て上記計画面積全域に亘る仮換地の発表は一掃完了され、その内理和25年度末迄に確定測量を完了するもの、及び使用を開始するものは概ね次の通りである。

区 分	計 画 面 積	確 定 測 量 了 面 積	使 用 開 始 面 積
東 部	1,756,000	1,495,730	289,000
西 部	1,456,000	721,750	150,000
計	3,212,000	2,217,480	439,000

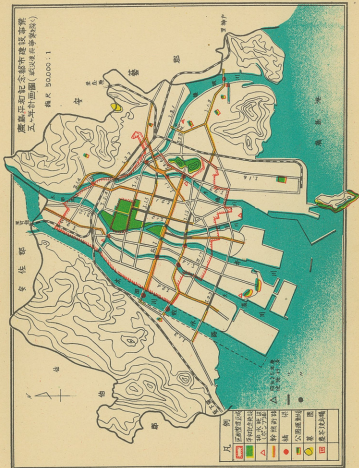
換地には必然的に家屋の移譲が生ずるものであつて、移譲必要戸数は約11,100戸と算せられ、昭和25年度末迄に移譲を完了するものは約2,580戸である。

2. 街路事業

区画整理に於て決定された街路の築造事業であつて、昭和25年度末迄に実施の工事進捗状況は次表の通りである。

職員別計画延長並工事進捗状況

中員別	計画延長	工事進捗状況		中員別	計画延長	工事進捗状況	
		整 地	砂 利 敷			整 地	砂 利 敷
米 100	2,876	2,249	1,020	米 20	7,915	960	180
80	250	—	—	15	21,809	5,272	3,934
50	500	180	50	10	39,987	8,038	4,351
40	10,940	6,137	4,270	8	65,564	20,380	12,700
36	2,490	590	590	6	62,998	18,320	11,729
30	17,653	2,807	1,450	4	4,777	520	286
27	3,532	—	—				
25	4,077	2,130	1,140	計	245,368	67,653	41,700



3. 搬運軌道事業

区画整理による荷役変更に伴う電車軌道の移設工事であつて、昭和24年度末迄に42.8米移設され、昭和25年度末迄に紙瀬町交差点と同地点から東、西、南三方に各200米、合計600米の移設工事が施行されている。

4. 瓦斯事業

区画整理に伴う瓦斯管の移設工事であつて、昭和25年度末迄に移設の完了するものは17,250米である。

5. 公共空地整備事業

市民体位の向上と都市の美化を図るため公園、緑地の新設を企図し、公園に於ては大公園を中島公園、中央公園、東公園の3ヶ所に配し、小公園を市内随所に設け、近隣公園、児童公園として計画し施工に着手している。

緑地については本市の特色である7鍬川の兩岸に設ける河岸緑地が特色を放つものであり、周辺山部等緑地にも設けることとなっている。

何處地計画については、本市には42,000坪に達する墓苑が市街地に散在していた。これを市街周辺部の2,3ヶ所に集めて公園的な墓苑とする計画が立てられ、昭和18年三滝墓苑が先づ内閣の認可を得て順次準備中のところ、第二次大戦の進展によつて一時中止した。併し戦後新たな都市計画のもとに三滝墓苑、並びに高天原墓苑の両墓苑が計画されることとなった。

本事業は区画整理区域内に於ける公園、緑地の新設、並びに区画整理に伴う墓地移轉の用地として三滝墓苑の新設工事を実施するもので、之等の計画内容に對する昭和25年度末迄の工事進捗状況は次の通りである。

區 分	計 画 面 積	工事進捗面積	備 考
公 園	285,000坪	29,970坪	但し中央公園を含む。別途平和記念施設事業とあわせて施行する。
河 岸 緑 地	66,000	4,450	
三 滝 墓 苑	60,000	20,600	
計	411,000	55,020	

6. 上水道事業

本事業に於て施工するものは区画整理に伴う上水道鉄管の移設工事であつて、別途改良事業と相俟つて工事を進行し、昭和25年度末迄に36,690米の移設を実施する。

7. 下水道事業

本事業は勿論区画整理に伴う下水管布設工事であつて、下水道については既に改良下水道の計画を樹立しているので、この計画に基づいて工事を進めている。

本事業に於て昭和25年度末迄に布設する下水管延長は7,830米である。

平和記念施設

平和記念館市広島を象徴する事業として、中島、中央公園257,000坪を一括して平和記念公園とし、平和記念館、記念塔、運動競技場等を設置して世界平和に寄与すると共に、国際人交歓の一大中心地たらしめようとするものである。

即ち平和記念館には、国際会議に使用する集会場、原爆資料陳列室、各種平和団体の事務室を含む本館を設け、記念塔には、平和の鐘を釣る大アーチ及び展望室を設置する。

尚運動競技場としては、陸上競技場、球技場、プールその他を備え、この外野球場等も設ける。

又旧原爆慰霊館の跡地の修復を行い、原爆遺跡として保存する。

更に又この公園に太田川の川沿いを取り入れ大緑地化地域を構成して平和記念館市の中心たらしめべく計画している。

これらの平和記念施設に要する総事業費は7億余万円に昇るものであつて、昭和25年度からの5ヶ年計画は次の通りである。

現在本公園内に完成している代表的施設は、中央球場、中央球場、児童文化会館、広島市中央公民館等である。

平和記念施設5ヶ年計画内訳

種別	25年度		26年度		27年度		28年度		29年度		計	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
記念館	坪 57,220,000	坪 2,234,719	坪 88,538	坪 2,234,719	坪 —	坪 —	坪 —	坪 —	坪 —	坪 —	坪 2,826,719	坪 103,668
記念塔	—	—	—	15,000	—	—	—	—	—	—	—	15,000
運動室	—	—	50	4,000	—	—	—	—	—	—	50	4,000
記念公園	10,000	5,980	35,000	17,952	212,000	98,500	—	—	—	—	257,000	122,432
計	—	25,980	—	125,520	—	98,500	—	—	—	—	—	250,000

排水施設

本市は太田川のデルタ地帯に発達した港市であつて、土地は一般に低海で全面積の9割が満潮位より低位にあるため、自然流下による汚水、雨水の排除は極めて困難であつて、殊に豪雨時に於ける雨水の氾濫は本市の発展を著しく阻害しつつある。此処に於て市営ポンプ場の改良を含め、14ヶ所の排水ポンプ場を設置して排水排除の強化を図り、以て本市を衛生都市たらしめる計画である。

さしあたり5ヶ年計画に於て表表の如く6ヶ所の排水ポンプ場を設置することとなっている。

排水施設5ヶ年計画内訳

種別	名 稱	25年度		26年度		27年度		28年度		29年度		計	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
排水施設	牛田	1ヶ所	5,070	—	—	—	—	—	—	—	—	1	5,070
	観音	—	—	1	18,800	—	—	—	—	—	—	1	18,800
	横川	—	—	1	9,200	12,100	—	—	—	—	—	1	21,300
	江波	—	—	—	—	117,900	—	—	—	—	—	1	117,900
	段原	—	—	—	—	—	—	19,350	—	—	—	1	19,350
計	千田	—	—	—	—	—	—	110,650	—	16,930	—	1	27,580
	計	1	5,070	228,000	130,000	230,000	—	16,930	—	6	110,000		

幹線街路事業

本市の幹線街路の主要なものは、昭和21年10月4日都市計画決定に基づくもので、広島駅、宇品港及び市、北の外郭より市内中心に伸びる路線で、その路線数は24、延長81.62kmである。

区画整理区域内は、街路跡地、植樹等の街路整備を、区域外は、街路の新設工事をなすものであつて、特に市の中央を東西に走る100米街路は平和記念道路として注目に値するものであり、本来の交通目的の外、観光、リタラージュ、防災の意義をも有するものである。

次に本市を南北に貫流する7沢川に現在架設されている橋梁の中には多数の本橋があつて、過去再三再四水害を蒙り流出するに鑑み、水久橋を架設するよう計画したのであつて、その架設橋梁の数は38橋である。

以上総事業費は80億円に達するもので、5ヶ年計画に於ては表表の如く緊急路線を選んで路線数19、延長25.170米、橋梁14橋を施行する。

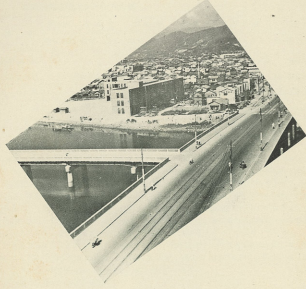
而して昭和25年度末迄に街路4,680米を施行し、橋梁としては新開橋が2,300万円を架設されることになっている。

何れも国庫日援助見込資金9,000万円を以て平和記念100米道路の新橋、新大橋の二橋を施工しているがこれ等は昭和26年8月完成の予定である。

幹線道路事業費5ヶ年計画内

[illegible]

價	— 53.460	— 437.960	— 286.520	— 309.880	— 119.300	— 1,257,250
備考、鉢は鉢底、故は植樹、故は整地、用は用地相費、上下水は上下水道管有股を表す。植樹については、その施設位置の中央より差入する。						



爆心地の相生橋（T字橋）

都市公共施設

震災復興区画整理区域外に存在する公園、運動場、児童公園の整備、其の他墓苑、児童遊具場等を、其の後に於ては火葬場、動物病院等を計画するが、昭和25年度からの5ヶ年計画は次表の通りである。

都市公共施設 5ヶ年計画内訳

種 別	25年度		26年度		27年度		28年度		29年度		計	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
座落処理場	坪	千圓	坪	千圓	坪	千圓	坪	千圓	坪	千圓	坪	千圓
公園運動場	—	—	50,480	12,620	59,530	14,880	—	—	—	—	110,000	27,500
墓 苑	—	—	—	—	6,920	12,450	8,530	15,000	6,750	12,340	22,000	39,790
計	—	—	12,620	—	27,330	—	20,000	—	17,340	—	77,290	—

太田川改修事業

本事業は太田川放水路の開鑿を根幹とするものであつて、これに依り市内各派川の水位を安定せしめ、洪水時にも河水を定常減下させて広島市を水害から防護することを主要目的とする。又一面流出土砂の堆積しつづめる広島港の維持を容易にし、その発展に寄與するとともに、旧派川の整理と相俟つて沿川一帯の麗観交通を便にし、産業の発展を促し、その植林水状態、衛生状態の改良等、有形無形の附随的効果も莫大である。特に平和都市創設を急いでいる本市にとって、その建設計画を全完に実施して将来の発展を促すためには、本工事の早急実施は最も緊急を要するものであり、全市一帯となつて強力に推進すべきである。

放水路工事は開鑿をもつて昭和7年度より15ヶ年継続事業として着工されたが第二次大戦の進展により已むを得ず昭和18年末より一時中止された。而して昭和21年度より再び工事は実施され、日下可部、観音方面の上流地区の工事を施行中である。

以下放水路計画の概要を記述する。

1. 事業費

総 工 費	2,205,998千円
24年度末迄総計画額	5,998
25年度から5ヶ年計画事業費	1,000,000
後年費事業費(昭和30年から)	1,200,000

2. 位置及び施行順位

本市の西端部に在る山手川を開鑿して堤岸の河口から6.2km附近で本川より分派させる。

河口から1km附近迄工程は進められているが、引續き昭和25年度より5ヶ年計画を以つて山手川を開鑿しその廻廊土を流用して築堤工事、家屋移轉用地として観音川敷川敷7,000坪埋立工事、及び滞滯工事を施行する。その後の5ヶ年計画を以て放水路工事、分派口に於て本川に築造する分水堰等築造工事を施行して放水路の完成を期する予定である。

3. 洪水處理計画

洪水氾濫、排水調整施設等の流量曲線を検討し、計画洪水量を毎秒4,000立方米と定めて改修計画の基本としている。

この洪水を放水路分岐点の永門によつて調節し毎秒4,000立方米を放水路に流注し、残水の毎秒2,000立方米を在来の各河川に流下させる計画である。因に太田川7派川の洪水時調節能力は約毎秒2,300立方米に過ぎない。河川幅は上流に於て200米河口に於て400米とした。

廣島港修築事業

広島港は約50年間の水きにわたつて元寇軍船避難基地として利用されて来た。修繕後軍港6期建設され昭和23年1月1日開港として指定された。今日に於て理想的な港としての施設を施し對外貿易並びに對内移出入港として活用することは、地方的開発上又國家経済再建のため寄與すること甚大であり、更に西部島内海軍基地としての発展性を考えるとき、その意義は益々重要なものとなつて来た。

昭和23年4月広島港修築計画を樹立、工事に着手して建設途中であるが、引續き昭和25年度から5ヶ年計画を以て5,000屯乃至3,000屯規模1基、物揚場の築造並びに港内液路に主力を注ぎ10,000屯規模面を含む残余の工事は更に後年度に施行する計画である。以下昭和25年度からの5ヶ年計画は次の通りである。

1. 事業費

5ヶ年計画事業費	1,596,690千円
後年度事業費	4,215,300
計総事業費	5,811,990

2. 計画施行能力

荷役取扱貨物量	260万吨(年間)
乗降船客	12,000人(1日)

3. 主なる工事

種別	水	深	延長	種類	延長
岸壁	8.1	米	150	防波堤	500
"	7.3	米	120	液路	481,510
"	6.6	米	200	上屋	9,850
物揚場	4.0	米	400	起重機	3
"	3.0	米	200	ポンプ	2
護岸	—	米	360	道路	3,899

附

録

主なる官公署 (附關係団体)

名	稱	所在地	名	稱	所在地
(市廳關係)					
廣島市役所		國泰寺町	廣島公共職業補導所	霞町	
廣島市保健所		富士見町	廣島公共津裁補導所	國泰寺町	
東部復興事務所		基町	廣島土木出張所	基町	
廣島市警察署		國泰寺町	廣島廣島市復興事務所		
廣島市東警察署		比治山町	廣島建築出張所		
廣島市西警察署		大手町	廣島縣衛生研究所	富士見町	
廣島市字品警察署		字品町	廣島林道出張所	尾長町	
廣島市消防局		大手町	太田川農業水利調査事務所		
廣島市道庁署			廣島警察管區本部	霞町縣廳内	
廣島市中央卸賣市場		水主町	廣島警察 隊		
(府廳關係)					
廣島縣廳		霞町	(内閣關係)		霞町縣廳内
廣島縣印刷所		霞町縣廳内	(經濟安定本部關係)		
廣島縣信用所			廣島地方經濟安定局	基町	
國立中央兒童相談所		基町	廣島管區經濟調査室	霞町縣廳内	
國立中央兒童相談所一時保護所			廣島地方經濟調査室	霞町縣廳内	
廣島縣農業振興所		霞町縣廳内	廣島地方物價局	霞町縣廳内	
廣島縣農業出張所廣島支所			(最高裁判所關係)		
廣島縣水産物検査所			廣島高等裁判所	基町	
廣島縣建設試験場			廣島地方裁判所		
廣島縣食糧検査所		南豊屋町	廣島家庭裁判所		
廣島縣林業研究所		霞町縣廳内	廣島簡易裁判所		
廣島勞政事務所		國泰寺町	(法務省關係)		
廣島縣陸運事務所		霞町縣廳内	廣島高等檢察廳	基町	
廣島縣商工資料事務所			廣島地方檢察廳		
廣島港事務所		字品町	廣島法務局		
廣島公共職業安定所		千田町3丁目	廣島矯正保護管區本部	字品町	
廣島公共職業補導所		字品町御幸通8丁目	廣島少年保護觀察所		

名	稱	所在地	名	稱	所在地
廣島少年觀護所		字品町	中國地方鐵道會		仁保町向洋
廣島少年鑑別所			廣島縣鐵道會		
廣島酒造所		吉島町	煤炭産業中國連合會		
廣島物産所		基町	中國糖管理協會		
(厚生省關係)		霞町縣廳内	油脂中小工業連盟中國支部		
中國地區監在防衛官事務所		霞町縣廳内	廣島石油化学工業會		
厚生省廣島檢査所		字品町	(大藏省關係及び關係団体)		
(農林省關係)		南豊屋町	稅務課廣島支所		
農林省廣島倉庫事務所		字品町	廣島國稅局		
農林省廣島統計調査事務所		霞町縣廳内	廣島東稅務署	大手町	
農林省資料調査事務所		霞町縣廳内	廣島西稅務署	水主町	
農林省廣島本農事務所		中島本町	廣島稅關支署	字品町	
廣島林業署		基町	日本專賣公社廣島地方局	菅賀町	
(労働省關係)		霞町縣廳内	廣島強國軍計費組合連合會		
廣島労働基準局			中國輕工業協會聯合會		
労働省婦人少年局廣島職員室			廣島鹽業株式會社	國泰寺町	
廣島労働基準監督署		西白鳥町	(運輸省關係及び關係団体)		
(建設省關係)		霞町	中國國庫局	字品町	
中國國庫地方建設局			第六管區廣島海上保安本部		
(文部省關係)		千田町(文理大内)	廣島海上保安部		
文部省教育施設部廣島出張所			大阪管區廣島地方氣象台	江波町	
(産業省關係及び關係団体)		基町	廣島陸運局	二葉の里	
廣島通商産業局			廣島鐵道管理局	字品町	
廣島通商産業局分室		幡町	廣島鐵道教育所	仁保町吉崎	
廣島鐵道監督部		仁保町	日本鐵道公社山陽地方營業事務所	換厓町	
通商産業省工業技術廳電氣試驗所廣島支所		三篠本町1丁目	中國地方労働事務所	字品町	
社団法人セメント協會廣島出張所		仁保町吉崎	廣島地方資料事務所		
中國紙業協會		向洋	日本通運株式會社廣島支社	西豊屋町	
中國鐵道協會			中央鐵道俱備格査定委員會廣島支部		

名	稱	所 在 地	名	稱	所 在 地
日本經濟社會社字品支店	字 品 町	廣島縣政府管理所			比治山本町
＊ 已斐支店	已 斐 町	廣島無線管理所			基 町
財團法人鐵道弘濟會廣島支部	大須賀町	廣島電氣通信管理所			下 中 町
廣島地方鐵道協會	＊	中國電波管理局			字 品 町
日本交通公社廣島支社	＊	廣 島 電 報 局			基 町
(郵政省關係)		廣島郵政管理局			極 原 町
廣島郵政分局	基 町	字 品 電 報 局			字 品 町
廣島郵政職員訓練所廣島研修所	字 品 町	廣島無線松受信所			基 町
廣島郵政監理局	基 町	廣 島 電 話 局			下 中 町
郵政省廣島地方貯金局	千田町1丁目	廣島西鐵部局			北 坂 町
廣 島 郵 便 局	基 町	廣島電氣通信中樞所			下 中 町
廣島鐵道郵便局	極 原 町	中國電氣通信資料部廣島資料配給局			基 町
廣島驛前郵便局	＊	電氣通信職員訓練所廣島學園			字 品 町
字 品 郵 便 局	字 品 町	廣島中央放送局			土 佐 川 町
(電氣通信省關係)		(公園關係)			
中國電氣通信局	基 町	食田櫻井公園廣島支團			飼 木 町
廣島電氣通信部	白 島 町	護國神社公園中國支團			德 匠 町

主なる銀行、會社

名	稱	所 在 地	名	稱	所 在 地
(總 行)					
日本銀行廣島支店		袋 町	富士銀行廣島支店		胡 町
大阪銀行廣島支店		紙 屋 町	伊豫合同銀行廣島支店		平 川 屋 町
協和銀行廣島支店		大 手 町	廣島銀行本店		紙 屋 町
三和銀行廣島支店		〃	住宅金融公庫廣島支所		岡町縣廳內
第一銀行廣島支店		〃	國民金融公庫廣島支所		袋 町
千代田銀行廣島支店		平 屋 町	商工組合中央金庫廣島支所		東 魚 屋 町
帝國銀行廣島支店		橋 屋 町	農林中央金庫廣島支所		尾 道 町
東京銀行廣島支店		胡 町	廣島信用組合		横 川 町
日本產業銀行廣島支店		上 流 川 町	(保 險)		
日本興業銀行廣島支店		紙 屋 町	第一生命保險和互會社廣島支店		基 町

名	稱	所在地	名	稱	所在地
朝日生命保險相互會社廣島支店		川 州 町	共榮火災海上保險相互會社中 國支店		西引御茶屋
明治生命保險相互會社廣島支店		袋 町	(露 德)		
千代田生命保險相互會社廣島支店		大手町	株式會社中川商店		山口町
國民生命保險相互會社廣島支店		新 屋 町	廣島証券株式會社		銀 山 町
光生保險相互會社廣島支店		平 屋 町	鎌田証券株式會社		山 口 町
大同生命保險相互會社廣島支店		的 場 町	長尾証券株式會社		〃
日新生命保險相互會社廣島支店		袋 町	野島証券株式會社		銀 山 町
第百生命保險相互會社廣島支店		八 丁 堀	佐藤証券株式會社		〃
中央生命保險相互會社廣島支店		基 町	一心証券株式會社		京 橋 町
大和生命保險相互會社廣島支店		小 町	山陽証券株式會社		立 川 町
富國生命相互會社廣島支店		袋 町	高田証券株式會社		山 口 町
東邦生命保險相互會社廣島支店		西魚屋町	山井証券株式會社		銀 山 町
廣榮生命保險相互會社廣島支店		基 町	興隆証券株式會社		山 口 町
日本生命保險相互會社廣島支店		大手町	三田証券株式會社		銀 山 町
東京生命保險相互會社廣島支店		袋 町	西三証券株式會社		鐵 砲 町
平和生命保險株式會社廣島支店		基 町	吉建証券株式會社		山 口 町
東京海上火災保險株式會社廣島支店		袋 町	山田証券株式會社		銀 山 町
大阪商支店海上火災保險株式會社廣島支店		本 倉 町	竹島証券株式會社		〃
日本火災海上保險株式會社廣島支店		〃	八幡証券株式會社		〃
大東火災海上保險株式會社廣島支店		八 丁 堀	廣榮証券株式會社		〃
千代田火災海上保險株式會社廣島支店		大手町	九廣証券株式會社		〃
日本火災海上保險株式會社廣島支店		大手町	杉村証券株式會社		〃
同和火災海上保險株式會社廣島支店		基 町	藤原証券株式會社		山 口 町
日清火災海上保險株式會社廣島支店		國 泰 寺 町	ウツミ証券株式會社		銀 山 町
富士火災海上保險株式會社廣島支店		中島本町	ウツミ証券株式會社		〃
日新火災海上保險株式會社廣島支店		八 丁 堀	春福証券株式會社		松 原 町
廣島海上火災保險株式會社廣島支店		大手町	入江証券株式會社		山 口 町
大東火災海上保險株式會社廣島支店		立 川 町	片岡証券株式會社		〃
大東火災保險株式會社廣島營業所		猿 樂 町	山興証券株式會社廣島支店		〃
			山一証券株式會社廣島支店		立 川 町
			野村證券株式會社廣島支店		革 履 町
			大和証券株式會社廣島支店		西 尾 町
			日本國泰証券株式會社廣島支店		上 道 町
			英証株式會社廣島支店		銀 山 町
			(事業所) ……工業主眼上 従業員100名以上		
			廣島廣域株式會社		千 田 町
			廣島廣域實業自來水株式會社		西 竹 屋 町
			日本建設株式會社中國支店		〃
			中國電力株式會社本館		小 田 町
			清水建設株式會社廣島支店		八 丁 堀
			株式會社新田川廣島支店		〃

昭和26年3月20日 印刷
昭和26年3月31日 発行

編 纂 廣 島 市 總 務 局 調 査 課

発 行 所 廣 島 市 役 所

印刷所 株式会社 有文社 印刷所

広島市善美町三丁目

電話 中③ 0246

【非 賣 品】

寄贈者	広島市公文書館
	昭和26年 5月 日
	21539-50

3/8-10

